當分的

ゆる

よ

兩軍を

於 地瑞子用听的公里出到火 建報日 淵滿 社會实 诛 所行

1.800CC(-#)\$5.00

仙人は現在する

走 馬 積燈

他人か見たことがあ になりなり三十年

動車の信徒は優に走り、生活も

る支那の時局か、この他人は何

明に底酸したに過ぎないものさらくするこそれは文脈の近代交らくするこそれは文脈の近代交

後或は十二月にかけて

でいだり、南山酸は緑色岩氏の で、大連在住の中國際大 での探信による宴會が開かれた 対容には辛島署長、田中大連市

能して管底でいる出す。 の山炭にも水で総の質だけで生 きて居る、歳の幾つかわからないのが居るでいるとないのが居るでいる。

中心さした立機館の進の支那はといふが、道数の他人的思想を心臓師過渡期の支那さ世人はよ思想的過渡期の支那さ世人はよ

数年前來の警農ロシャの第三イ

目覚めついある支那

やはりその根柢を識れてゐるの

道程を接げてゐるに過ぎないのなく、たゞ支那の民族幹爺へのなく、たゞ支那の民族幹爺への

ふ思想は支那では不思議さされ個人は箕在するものであるさい

たが、ほん

るのも除りいはなかつた。 を解は時々水や草を食みだけで をいまないないなのですな色をもて 五六百歳、乃至はも で裏書して、それは、

成し、張學良氏し、就化し、共 別して主催した就老會の八十、 潜山で主催した就老會の八十、

脈も溶性の態のやうなものにす

られて電響をして一関の光彩をいれて電響をした。 しかし ですに大騰さなした。しかし でもし でもし かん

を廻る。女明の立際化はその民機的支那を幸びにする、走馬燈機的支那を幸びにする、走馬燈

文明の立體化はその民

0

放たもめたではないか。

が説「雌遊記」について話がは での席上、今本紙に連載の支那 である。 町へ館ら道具質ひにいつたのだ「個んでもその前後、孫氏が震速

山の奥で、一見五十歳値に見え場所は宏微音散州の黄仙さいふ

でも除り知られてゐないが、面。潘復元總理は、あの小説は支那

氏ちの心をこめた工夫に成り

つんだ

からあるさいひ出すさ、李徳芳のいひ、あんな個人は支那には語いもので、質者は緑野嶋緑さでも除り知られてゐないが、面

擴大 倉職の人々は「勿論

海軍進

ふ海軍省で

のいある、孫連仲氏の中央に順次 南山西に集結と一部は陝西に入り ・ の北軍は つたのは事質だがその軍隊の大部 院海 線の西がへ起ってる 支那料理の日本化さらいふべき 人日本式の器物

鐵道敷設を計畫

熱河省政府當局が

賜るの事事を議官で共に御陪食を助える

明白さなつた 一、英帝國間の自由貿易主義は絶 等基合選を與ふべきは食糧品に 野する質般のみなる事 可して自治領諸國間に更に廣範園の 野する質般のみなる事

入成績

失業公債の

發行否定

沽、石家莊間

ス帝國内の自由貿易主義を徹底的に無緊した。

た後行する意志はないで譲った

氏に博士號

が課の古琴館小林崎乃至は高文海路局底路線長には先づ関東廳

赤デヤン向きの 石鹸 てする肌を保護して目にしまね

機能氏の下野で同時に孫連仲氏がせつて最大の際であつた西北軍鹿

氏の希望もあるがなほ米定である

西北軍の出力は山西省野で同時に孫連仲氏が

蔣張會見の用務

當面の重要諸問題協議

多数の奉

おきの説もある、甘瀬には馬融戦の りではこれを承認して映出二書よりではこれを承認して映出二書よりのとさしてあ

莫全權や召還 善後策協議 かっ

大臣室に開倉東

日代はるべき液軍定期を長つの他多数の勝官出版での他多数の勝官出版をでの勝い、時部、殿に、安保を開入しているべき液軍を出るである。

市衞生係新施設

豫算一萬七千圓計上

を施び粉索の問題について協議せんとするものであるが何さいつて

一間に變化した内外國事

海軍大演習 御慰勞賜餐

種でる窮支合語の警後方法。軍の警後處置

識の善後方法

れる第四次全體會議前に會見す

心目下隔者の間に時

低したさいはれるが哈府議定書の の有効を託頭しそのため會議に書 の有効を託頭しそのため會議は係 **停頓した露支交渉**

は三日間に要すては三日間に要すに一様のでは、一日間に一条要素部である。

で、各鎮守府司令長

運搬のため二戦機自鯨車三塞價格。見たいさいふのであり、懸泥運搬総の下めるが、舵生態では尿尿、解して臭れゝば試験崎に使用して大連市では目下昭和六年度爆発の一高くなるがこれを交化料さして説

勝支、韓の線定に基き東級を紛等。 シマノフスキー、蔡連升會見の際、 主要條項 は第一条のリト 北四電戦部會議の結果にあるが、決定的態度は葵氏の親書による東

は日下南京で電大との

四 総らた於め酸酸氏に突然を進めて ・ 数束に當るこそにならう ・ 数束に當るこそにならう

氏を憚って執低を控してるる。郷飯煮、栄哲元氏らも動しては始め群が碌。戦軍に速かに陝西へ入るやう命会・戦すくは始め群が碌。戦軍を借め別々に塘崩す一が構造・

軍隊の處置至難

政治的解決に腐心

二十八名は十一時宮中に泰 臨歴の上天皇陛下出御午祭 の御際食を勝ばり経つてNi の御際食を勝ばり経つてNi

馮下野するも

樂觀說が「おかである、な

等が主要なるものである をより御溪跳や御頭流遊ばされた でもて避撃法唆正が明示されてあってして避撃法唆正が明示されてあってもて

にある

さの学句を議會で可決せんごす

英自治領の

自由貿易

英政府は反對

莫德惠全權に代つて 英國政界の危機

形勢は政府側に不利

モスクワに振遊するここを見合は 地選せむさもた四名の代表は一時 が選せむさもた四名の代表は一時 がで突然を開始せむさする意

際原は南京政府が英を艦に代つ

ぜたさいはれてある

自衛的武裝 破血團に對し

長江共匪の暴虐に

列國が共同自衞策

司令官會議開會

東鐵西部線不安

"七十九百七千人第

がかんさするにあり 一、勢働窓内閣は組閣に際し失業 一、勢働窓内閣は組閣に際し失業 一、然るに組閣當時百十萬に過ぎ なかつた失業者の數は勞働黨内 関連超中方に至った事 一、然るに組閣當時百十萬に過ぎ なかつた失業者の數は勞働黨内 にないるに至った事

ルド省権は左の娘く答縁もイギリの下院において保守艦を首ボール ドウイン氏の質問に答へマグドナール

財政難を説明し

政府、海軍首艦部に 東京二十九日登電通』瀬東康毅 れが解決策につき豪盛もつゝある 原東京二十九日登電通』瀬東康毅 れが解決策につき豪盛もつゝある に至った、これに對して政府は二 なら家軍電腦部に對し関系の財政を基 上職機の臨齢到り矢吹欠電が直機 上職機の臨齢到り矢吹欠電が直機 上職機の臨齢到り矢吹欠電が直機 た政府は記し 上職機の臨齢のリ矢吹欠電が直機 に至った、これに對して政府は二 なら家軍電腦部に對し関系の財政を基 を設置し当機、持 の現版を具に説明顕際を得しむる に致るべしさ信じてゐる、これが ながしていた。 に対るべして、 に対るべして、 に対して、 に対し、 に対

宮中に参内遊ばされた、葛真は〈右〉竹田宮村徳王殿下〈左〉李雄公殿下へ自出た〈少尉に御任官長き渡りでは阿殿下に叙飾新一等浦日桐花大綬章を賜は、李継公殿下には近儺騎兵幕隊にそれ〉〉見習土官の御兵杯で御入隊前務中にあら、李継公 両殿下御(任官) が田宮村徳王殿下には、

一等州日桐花大綬章を鳴ばり廿五日午後、格で御入陰前務甲にあらぜられるが廿

脚で厳客貨物連絡打合せのためザ

極力諒解を求む

英議會け 皇帝親~ 公開會

塚加で、一並志歌り七厘八電九条 になるがサイドカーを使用する時 一十二錢五厘さなつても連続映敷の ・ になるがサイドカーを使用する時

關東廳大異動の 顔ぶれ觀測

の昇続その他に伴い目下事務管四 名(舵事課長)を都合高等管室蔵開東欄では今般黄表の三民政支署 名、神事館一名(旅務録)等映一 太田長官歸任後實現

館画講解決か。 グ投票如何で大勢が動くさ。いづ 英國議會も印由際のキャスチン れも同じ世の中か。 薬剤中央山脈の霧社に暴動が起 ムシャクシャさいふものだ。

では、「おきにならう。 「ないふ。除り拔物されると を大がガラあきにならう。 日英米佛伊各國、共同自衛服を 職でべしていふ。機つて臭れれば にてさいふ。天下茶平 勝氏、佐然、政治解決に急にもて共興、問題させで。 臓神し、細腻、 首様の行司で政治 戦入蔵のみぎり、 膨根を 法様の とものではないかご見られてゐる 大觀小觀 見、來月、天津か青島 唱歌集 前 東子迷の印籠 歌

直接監督事務にたづさばる者であるだけに古髪理事官或は相密の見 をだけに古髪理事官或は相密の見 をでは、一直を表現事官或は相密の見 をでするが必要さするので吉 をでする。 ではその職務が溝螺及び滅信局の

保護劑 皮膚の コドサの

ドラコードケ + 月新

新小貝 お江戸 八景 喜正子

佐々木清子

里見義郎

萬 歳高速度忠臣職 柳家三太 諸田餘異都 々逸、米山 雲井式、諸田 雲井式、

雲井 式部

時計の歌、茶摘谷草 五 九 州 營 業 所 不摘 草野和歌子 李斯和歌子

頻樂の設備あり あ か 自 動

3

理事情級でや、墜歩し得べきもの人が着低するか見當つかず、確に り輸入され金州の増出署長は居愛 次の支署昇格による最初の民政署 長たる三導物館の中一名は内地よ が脳い等の関係で自然大部分は内 雅事課長等は目下腰内に有資格 ト馬評に 上ってゐる人々 便怕已 スター

りで、他の一名は目下同郷内におする唯一人の様常なる有質を持て、他の一名は目下同郷内におりて、他の一名は目下同郷内におる田中大連長政製地方無長が累進して田中地が無長の後任さ目下飛進を決し、他にはませるとも 東京便箋 元波象根

支那趣味タツプリ

北日午前巻口より隆興公司所有職員 地区入れたもので如何にも支那趣味 九日午前巻口より隆興公司所有職員



聖諭煥發記念日に 廳が表彰する

孝子 營口の松浦きよの嬢(五 全満で選ばれ 奉天の平 櫛義 政君(ヨ)

登底」という音を使うと言葉、 で、 という音を使うとなった。 関東郷では我が親育史上特記すべ、翻訳記目に際も、全滿の孝子順孫中より様に孝順帝様を認められる左記二名の孝子、順孫が出記目に際も、全滿の孝子順孫を表談すべく瀟耀來州内がにわたつて調査中であったが、 谷教育勅語樂教四十周年語念日はいよく(明世日ごなった、 関東郷では我が親育史上特記すべ、教育勅語樂教四十周年語念日はいよく(明世日ごなった、 関東郷では我が親育史上特記すべ 教はれた養家のため ける孝子は鄰天淀町八番地や権義政君さいよ年蘭十五歳の可憐な少年、ひこりは繁日してこの有意義なる表彰を行ふここになつた、全滿幾十萬の那人中から選ばれ晴れの を引受け夜の十二時を過ぎて除る 食料さするに足る由なく更に夜飯

實家へ歸宅の勸めも斥けて孝養 健氣な平櫛義政君

二郎氏は大正十二年病死後家郡ま工年二月五日に生れ、戦家は小正五年二月五日に生れ、戦家は小正五年二月五日に生れ、戦家は小正五年二月五日に生れ、戦家は小正五年二月五日に生れ、戦家は小正五年二月五日に生れ、戦家は小正五年には大正十二年病死後家郡ま

十歳の時 このまっですと 郷芝に関り、同君が

るのかまち同十三年奉天幣日小一の婉聴くなり戦人は全く絶えその十一年駆車の今津小學校を修業。 口参養を盡してゐた、その後養父て養育するとになり、同君が大 なも膨胀盛りの子供が大人の及ばい戯からこれを引取りわが子さ わら家庭の手助けに献身的勢力を 戦んで出たが容れられず、學校 て通學してかられず家事のたと、 松刊ながら



表彰される 平 義

貞操代二萬圓

値切られては應じられぬ

排々爺さんを一ばい喰はせた

妖妃と恐いおぢさんの問答

つてかいるさい

表子「わたしはそんなこさを云つ」 ・ にいふのです」 ・ 保官「お前は肌漿に電報一本で質 ・ 家から五千間でも一魚回で送金 ・ 家から五千間でも一魚回で送金

政

軍隊の警備で 埔里の人

定した、薬中州艦級の百五十餘地の一個中職は十八日午前三時相里に到着し同時に附近の整備を開発し同時に附近の整備を持たい。

霧社包留

《東京二十九日簽電道》歌歌軍司 管置二十八日午後二時八分發=陸 軍隊と警察隊 包圍

室を襲び根部内地人を繋割したことを撃び根部内地人を繋割したで分

公學校運動會を襲撃 一名を殺戮

內地人 本島人の別なく

廿九日早朝より一は髪加し居らぬき遠で二十八日夜一ウツア、葉大、

機にご誤論順を出した

△値段はお辱ね下さるな

△安心して食べられる!

霧社回復に警察除活動

八心安定

初

濟通丸入港遲 延の理由 生活質を送って臭れる

が理由に去るサ七日午前十時日沙 が理由に去るサ七日午前十時日沙 が理由に去るサ七日午前十時日沙 が理由に去るサ七日午前十時日沙 でに入っても歌まず、
新温宗下後に入っても歌まず、
新温宗下後に入っても歌まず、
新温宗下 五度を示す 新造曳船二隻 の起工式

一附。ナンバーワン」の

更に警察分室を襲ひ武器を掠奪 生蕃暴動事件の詳報

完後は輩母に代り養父の看題に

今顾の職機區線内 内地人八十九戸、 開始する豫定、

十八名)にて増里 た能高監在所の津 な能を方能よりの 本に高監ながまりの 他は生死不明、他は生死不明、 には十二社あり 十数年前支那より一回通信があった。 岩五郎(**)長短虹男(*o)は今より

十數年も行方知れずの 息子の行方 漸く判つて老父から説諭願

こりかでそりを軽さして能能なく 離礁の上入港したものであることが年前支那より一回通信があっ 急修理の上敷時間を終て午後四時常五郎(ま)長児好男(ま)は今より 故意に坐洲監檢したさころ推進器常五郎(ま)長児好男(ま)は今より 故意に坐洲監檢したさころ推進器を緩緩等多郡営田村大学営田山中 融解に衝突する疑ひがあったので多線線等多郡営田村大学営田山中 融解に衝突する疑ひがあったので

五日都在する由 宮尾東拓總裁 三十日夜大連着

ルビンに の祝の 古日が

流東ロシ ヤレストラ 3

警視廳に泣 早大當局が入れ 切り崩しに狂奔 きを

線を据く使れがあるので全域は取 大學の腺液問題に就いては他の膜

文部省より

學生側依然頑張る

さ健氣なその決心に誰一人災な個

包み切れぬ

養母の喜び

又義政君の敬務先なる率天倶樂部

家庭の切り盛り しき母に代り 營口家政女學校の模範生徒

孝女 松浦きよのさん

ジの甘栗

甘栗太郎

月も家政が學校で同好の孝順を称れてゐる孝符必好である、今年三

暴動眞因 に将來を順感し山砲二 E近を確保す

の原因でまだ確常な資格不明なる要権務省管電=移吐が配著人職接 今なほ不明

一、同方面番人の最近人夫の微東短なるため苦痛を訴べたることの問込みありたりこの問込みありたりこの問込みありたりこの問込みありたりこの問込みありたりこの問込みありたりでは、ボーコー社出身花岡一郎(番) **こありて本日も鰯擾番人に加榜に比し常に不平を洩らしたるこ**

来連する水井外務政務大官の概選 来連する水井外務政務大官の概選

強補血

K

人慈精腦

純良無比の人參又

早大校友會主催

製店にあり、満洲代理店

永井次官歡迎

拾壹月一日新學期網 收入の最も多く最も等人

限り入學を許可致しますめに速に自動車學校で、 隨意科質習部、學科部各三名限り 速成科統部的平統 山城町へ大連驛前) 大連自動 第二十三四五年 あた

日下調査中 【臺北廿八日發電通】能高駐在所 能高駐在所 焼打に遭ふ 三十日より

致經過聽取 杉原主事を招

を保て遅れた津崎巡査の報告で売 の緊帯に襲けれ三名の所員は必死 の緊帯に襲けれ三名の所員は必死 がこさ大勝部に質証統領を負の身 に変したが窓に燃打にされ の場合となる。 藪の中から發見 小笠原郡守の死體 宿料值下

生蕃の暴動

真に遺憾

松田拓相の話

高島易斷支鮮本部

婦人の生命とも云ふべき 大連唯一の最高技 技術を有する



遊東百 1 電話三一七一呼出二三八番 新

)。(珊瑚) 會

本場産地より大多數入荷致しました

お早いがお徳

快樂歌劇團 出演者

をが、看組及び出演者ほ左の娘(は呼報の娘(十一月一日から三日は呼報の娘(十一月一日から三日快樂歌観聴の歌醸さレヴュウ大會 から開催

一佐太夫の

名披露目 來月廿日頃開催

はすつさ立ち上つて、お歌の雌へ見てゐるに耐へられぬのか?左近 一き、態で呼山に、後か いちらしさに、ジッ

というと演

房

改

革

用

か

事

十七 ● 二方の十六 ○ 三トの 三 ● 二十七 ● 二人の十六 ○ 七十の十六 ● 二人の十十八 ● 二人の十七 ○ 一九の十八 ● 二十六 ● 一八への 十 ○ 一九への 六 ● 二十六 ● 二人への 十 ○ 一九への 六 ● 二十六 ● 二人の 一十 ○ 一九への 六 ● 二十六 ● 二十十六 ● 二十六 ● 二十十六 ● 二十十十二 ● 二十十二 ● 二十十二 ● 二十十二 ● 二十二 ●

◆寄 セ

喰ホー

▲ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 元 五への一 五への十二 三手の十十七 一 次 一 子の十十七 一 日 九 黒 ● ● ● ●

其他報等の

る▲今までのチップ乃至無心のレ コードは元惋者にゐた果姣が賭博 コードは元惋者にゐた果姣が賭博 一年生、伴奏村副樂童 一年生、伴奏村副樂童 一年生、伴奏村副樂童 (勅語奉答歌)大連第一中(勅語奉答歌)大連第一中

以下内地中欄 以下内地中欄 (公下内地中欄) (公下内地中欄) (公下内地中欄) (公下方地中欄) (公下方地) (公下方) (公下方 (公下方) (公下方)

▲吹奏樂 〈イ〉行 進曲スポーツ (ロ)記念日〈ハ〉令冒泰答の歌 (三)日本青年の歌〈ホンエスパナ 陸軍戸山學校軍樂隊、指揮辻順

田

兒科

角電点も田の

後町岩狭町

国本

其他 第 不 演 用 深 施 演 用 平椿油 特約店かごや油舗

市内米数店、食料品店市内米数店、食料品店 ZHE

神見

食下さいまし。 食下さいまし。 軟かく

グルランコエード

・ 大学 二十 銭 引にて鋼優待り各等 二十 銭 引にて鋼優待が側背藻。億川良子、杉和兄原作 川口松太郎

牛島青

人服でお

中山婦人子供理師是

堂食焼きする店賣小 た旨さして御家族速様も御歌迎申上げます。設備して御座います。然も 奉仕は簡便低廉設備して御座います。然も 奉仕は簡便低廉

も側注文により一緒に配達します。 へしてすぐにお届け致します「おあしちい」 も側注文にお届け致します「おあしちい」 一度御試

隣座盤常通極京街店商資連連大 店賣行洋治明 ちいめ 堂食焼きす

ださのこま ▲ 質能は 形上接伸の 復なで 内部の 結束をかためて 愈々更。 本質能は 形上接伸の 復 只あ

\$

反

スすきやき クラ食堂電話(広九〇四番

勿れ都有の傑作 「大阪」の大阪は第三の一部では 「はできない。」の 「はできない。」の 「はできない。」では 「ないった。」では 「ないった。」できない。 「ないった。 「ないった。」できない。 「ないった。 「ない。 「。 「ない。 「、 D

◆上等口

一人前は五十銭ですご但ご三人様以機正宗三本付一壹国十銭

浪速町

•上等鷄

鯛 チリ 製正宗三本付・壹圓四十銭 製正宗三本付・壹圓四十銭

料 金大衆席 貳拾錢懶

底全部取か

五・五〇

0

九四〇〇

赤革命短舞 六 五 五四

御氣に召したら末な か 0000

人は是非一 梅本の 度

申込

せず今

\$

速鞍辔旅大大大大大大大大大大大

本吉哈齊青天洪長公四開舉新安奉奉奉奉 漢 開始 主平 義東 湖林賓爾 島津南春 劉衛原嶽州縣 天天天天

店理代總國中

五線 十錢

算 根 は 運 東 瀬 外 に 加 東 瀬 外

個尺洋 十十七室 用四

南京で開かれる全國工商會議に 遼寧省商工總會から

大学 (新上の發展を禁るべし を画ののには調査を受けている。 大理由) 世界的財界恐慌後の強 は投資的に過剰年産品の版路を 大部に減張して之が貸めを群の が成のここであるが外貨の輸入は之 である。本年の銀盤落は未曾有 である。本年の銀盤落は未曾有 では差當り調査を受けて ない、此の時に於て根本的阈量 が成場が要であるが次の各 では差さがなり強いを受け では差さがなりなる。

二、品質検査 現在市場の製品 は真正の國貨に対する地質の最低を検査である。此の事でであるが、此の事では関知の事質である。此の事には関知の事質である。此の事には関知の事質であるが、此の事には国知の事質であるが、此の事には対し、現正の國貨には政府の有力なが真正の國貨には政府の有力なが異正の國貨には政府の有力なが異正の國貨には政府の有力なが異正の國貨には政府の有力なが異なる。

と飼料の

農學博士

良治

勢を眺めて強氣脈を呈し高値五十

大連腕丁會議所では従来内地谷地まり大連腕丁會議所では従来内地谷地に割する通關

通關書類の

不備實例

日本商議へ提出

ない。 ないでは、 ない 例を見ない態態的報場を示視もてからる民態は実に確らしい経ざ前 ドン三市場は個々別々な歩みを示いて見るこ大連、上海、ロン では深い考へがある如くにも見らては深い考へがある如くにも見ら

最近の三市場

獨自の歩み

倫敦、上海、大連の闘聯を失ひ

變態的相場を示現

上版日本向け総督の百二十八兩八村場の核側である、今朝の標金よ

相俟つて引顧き元盛水、外支那人 標金質氣旺盛、鶯替高値は輸入を 見送られ薄蘭內 上海標金 上海標金 五八八兩七 五八八兩七 五八八兩七 五八八兩七 五八八兩七

三干賞位も出来る、一年に四回も 出来る。所ふ云ふ事は無論全國に 出来る。ではないが假に十萬職 出来るこさではないが假に十萬職 出来るこさではないが假に十萬職 を割くさ考へてもそれは娘が ひ市際第一さい

場に

あるのである

この邊が底

注目に値ひする

最近の倫銀相場

鈔票强 惡

▲大阪現物 一滿般遊林、二十七圓二十錢 滿級新林

奥地市況(前場)

株(保合)

大阪期

安取(先) 前場質

况(廿九日)

に五千町歩に過ぎないのである。 に五千町歩に過ぎないのである。 に五千町歩に過ぎないのである。 はは難ふるに足らぬのではないか はは難な提供するここになる。 以いにはないかがはないができる。ここになる。 以いにはないが

麻袋續落し

特

産

大類(衛 里) 新東(衛 全) 新東部公司

綿糸は昻騰

(日曜木)

最近現出するであらう、さすれに管然などであって質量の無れ

大豆は依然差し く文仕手も一服で く文仕手も一服で く文仕手も一服で

職職が得られる機であります。この機能が得られる機であります。こ

上述の如く我國の工業は失敗の ・ 政府は海陸運賃及各種の背 ・ 大の具體 ・ 大の具體 ・ 大の具 ・ 大の ・ 大

世界經濟の混亂

の被点は不況楽の兆候を売し、職工をして上宅脚の著るしき増産の総

F

そ

の原因、實相、

野歸向

生

の政策が加へられてこりません。所書・曹のた城が、機械其他に数多の最も駆換解な無悪であった。フールー三年に一座千五百年、一座千五百年、一座千五百年、一座千五百年、一座十五百年、一座十五百年、一座十五百年、

佛、三〇年には六百郎に値が加へられて二〇年には七

日は此の城く変れなくなったか? に存する。それは米國従来の繁荣 さ、今日の不深の戦権を職明する 第一の総である。

常市不變

手形交換(甘九日) 金(公教)「是六元公園

振ふ力ご、それを見せびらかす鑑 は出來無い。されごその十事を支 は出來無い。されごその十事を支

三、米國現下の不 深の原因(承前) 本は多中心動力の一例さして。こ おける中心動力の一例さして。こ

た。かくして昨年末にこれらの分 部機による一般民衆の未機能移は の分

一トロイトの或る職工は、月收の全 の約束をしたと言ふ事が一種話さ して職へられて居る。月賦暖質の 現い蟹力は、彼をして釜代や食料 かを全く記様せしめたのであっ

が相電無民階級にまで及んだ。アが相電無民階級にまで及んだ。ア

き解へら

神戸豆粕 二一月月月月月

图 和 日本日

報(廿九日)

高 高 石 石

田鼎 田童

番五四町濃信市連大番の二〇七話電

大連市淡路町十 プリキ

正金(銀勘定) 日本向臺灣資(銀管) 美國亞 日本向臺灣資(銀管) 美國亞 一五日夏(同) 美國亞 上海向電信賣(百國)是市大分之 信用付三月夏(同)活心片也分之 信用付三月夏(同)活心片也分之 信用付三月夏(同)活心片也分之 和南南電信賣(百國)是市大分之 同二一ヶ月夏(同)活心片也分去 同二十日納賈(同) 西非自分上 和南南電信賈(百國)是市代也分去 同二十日納賈(同) 西非自分上

なのが例である▲ごつちが勝つかは朦朧だが上版市場は差して驚地にが上版市場は差して驚地には影響が薄くなったりが勝つか

電話ス五〇八番

本では整修し全額も丁新島五萬、奥毛六人であるから全然質の不振に層ち込んであるから全然質の都無に層ち込れば監地油房も經費の不振に層ち込れば監地油房も經費でなが経験しなければ監地油房も經費であってしまれば監地油房も経野ではないが経験しなけるであらう▲油坊の不振に降今に が大部分を示してゐる▲このマメラの密り屋がごこまで歌くかは 本ラの密り屋がごこまで歌くかは をなるであらうさすれば無れが緩 さなるであらうさすれば無れが緩 も上に標金市場は歌馬前には手仕 の六個二十五錢で打ち止り1~ れは飛ぎ當地の仕手關係にのみに れは飛ぎ當地の仕手關係にのみに で大手の特産筋及び上海筋でありで大手の特産筋及び上海筋であり

の新東は二三十銭高を示したよけ、月五十一ボイント高で歌なからかった。の新東は二三十銭高を示したかけ、角五十一ボイント高で歌なかれるである。本様は一般の反動安野常み裏切が織がも含れる歌には行かす民質がの撮が昨今の相場を繋行の駆慢した。なって歌がり様又融品架の弦画り、きら亦来橋高を受けて総糸が影響。本様は一般の反動安野常み裏切が低いた。まこの響成がら幾分弱響をかれる實際で、て十圓以上の影響を引いてもいましても然るは、たが総糸は之に添ひかれる實際で、て十圓以上の影響を引いてもいましても然るは、たが総糸は之に添ひかれる實際で、て十圓以上の影響を引いてもいましても然るは、たが総糸は之に添ひかれる實際で、て十圓以上の影響を引いても地であるが総本をはこれにつれた。この響成が多強ないた。近野では、本様は一般の反動安野常み裏切がまってもので野茂が機械能に出す押目れば見ら食いよく、米様が反動安かでもでいた。なくて質ってゐるさころにこの相、さなるこ一崩れなくては納まらないた。

シカマには マルイパ 滋養豐富美味新鮮 講習 スタ

秋のピヤニックは

度使へばきつと御氣に召す ムがアレー 大自然の光線を浄化して | 一次の | 大自然の光線を浄化して | 一次の | 大自然の光線を浄化して れ)電話九六五五番大連流 一番よく効くものは「治療毎日」 電話三五〇二番へ

大学 (大学) (



說

高松宮殿下

富田幹事長 濱口首相と會見

桃二

矢吹阿次官

さそれが、会見選

概要問題につき意見の突奏をなし

購讀料值

下社告

大藏案承認一

は軍機機能金を成るべく多く観視 は軍機機能金を成るべく多く観視 日は軍機機能金を成るべく多く観視 日常事長は二十九日年前十一時よ リ十二時まで濱口首様を宙脈にお いて會見驚内の意識を奪へ態識を

改

正せずと決定

昭和五年十月二十七日 昭和五年十月二十七日 田和五年十月二十七日 一 四 二 一 十 錢 一 回 二 十 錢 一 回 二 十 錢 回 二 十 錢

帳長等協議の上

州の事務内規

海軍側の態度硬化す

はいさいふので随く恣も所跡の目が成所の強口を攻撃しては神熱能数の機本を を流に禁しては神熱能数の機本を では、なり、後部の強力を攻撃してなり、後部の強力を攻撃しては神熱能数の機本を

緩和點の

發見協議

石井省一郎氏叙勲

は、東京二十九日聚電通 量に逃去した。 「と本日左の姫く蜿蜒の御沙次があった。 「と本日左の姫く蜿蜒の御沙次があった。」 「と本日左の姫く蜿蜒の御沙次があった。」

藏相首相訪問

東令部においては補充能養家に対して進のからからからが関防を焼に一致して進のない、こて遊戯すない。こで遊戯すない。こで遊戯すない。こで遊戯すない。こで遊戯すない。こで遊戯すない。

事務澁滯の虞あり

リこの間につき、「曖等か緩和脈を 要部内の不満型だしく脈もすれば 軍部内の不炭を来さんさする情勢あ が見の不安を来さんさする情勢あ

海軍の補充案は 最小限度のもの 省部結束して主張

産業を視察して 製鐵國策樹立

民間合同會社設立案を

東北平特閣廿九日 際介森氏の會見は 決定される響でな

のたディラー氏は目下編業外に関 中に日本に向け観察旅行に出致了 を答である

張兩氏會見地

多分威海衞とならん

現て東北突通委員會院左の如き照めたる後反野運動を起すことに の 大変 きれき嫉母生職合會名義を なっています。

思惑と説がある、歌歌歌を節も當か 「関内出誠で北平の重要位置に樂職 に関内出誠で北平の重要位置に樂職 をするこさになり後低には米春親前 をするこさになり後低には米春親前

北滿要人異動

ファシスト

本日廳報を添ふ

記念祭

交通事業は地方産業の開發上領し歸哈とまいる

在滿將卒

北支那事變行賞

廿九日陸軍省で發表

力行會の

改組方法

中央の権力 する軍隊に更にも する軍隊に更にも

職行幣の會見さなり、宋子文氏が廣東に起き南洋郵僑さの連絡交徴さなった調である。「九ケ腳鰕の直轄車を増加艦成を得ひ、これにアメリカより新式飛行機十臺をに九ケ腳鰕の直轄車を増加艦成を得ひ、これにアメリカより新式飛行機十臺を九日孁」南京政府は民務派の討伐を終へて膨く政府の基礎が閊まりかけたのでこの際、九日孁」南京政府は民務派の討伐を終へて膨く政府の基礎が閊まりかけたのでこの際、

日本の総案を研究せらめる事さなー氏を經濟局の総花技師に任命しースリカ農物徴はグレッド・ティラ

米國農務省

南京政府九箇師

0

労の治師を計可し委託を採ること

直轄軍増加を計畫

新式飛行機十臺購入

日本綿業視察

関した際左の短く八幅数銀所を由 を概含に呼ばされ正式決定を見る を概含に呼ばされ正式決定を見る を概念に呼ばされ正式決定を見る では、なったが、社合理が聚の数 では、大阪大のなく八幅数銀所を由 では、大阪大のなく八幅数銀所を由 きのふ産業審議會總會に附議

趣じついあるが廿八 教順せぬのみか反つ 大日曜』長江航の共

對

獨借欵に

^各團體反對

益々增

で多分酸溶解を動ら、 新の E 害 かよりの楽電によれば瀬延郷北閣 かまりの楽電によれば瀬延郷北閣 がよりの楽電によれば瀬延郷北閣 はこれに麒麟した、なほ廿八日長 がよりの楽電によれば瀬延郷北閣 は 熱戦を受けたので寒脳中の響像 がまりの楽電によれば瀬延郷北閣 である さ、これらは紅軍第二第六献軍 るさ、これらは紅軍第二第六献軍 のかか である

ではする大合同會社を新設せなってあるのでは會において多少能子を求める意見はあるさも大徳原教を求める意見はあるさも大徳原教を求める意見はあるさも大徳原教院・開催のが此を以て進むものさから、整選所述に登って生すべき最適関されてゐる。整選所述に登られてる。 合一、八幡震耀所を始め民間襲緩會 右の中民警主義を執ること、した社を合同して株式組織の一會社 のは現在の清波の城(今)際交送報 を設立すること 「、製織所外の各會社は低級及び に関係者の異誠を見る状態にあって、製織所外の各會社は低級及び に関係者の異誠を見る状態にあっては、製織関策が出て支援を表する。 今同會社は民警主義を執ることの見地から政局の影響によって さ 合同に加はる製織所を始め各 する紙管に出てたもので同防上心を する同じ加はる製織所を始め各 する紙管に出てたもので同防上心を またと何徹を以て現物出資の形で 製なる事項につき国家が命令をな ひ評信額を以て現物出資の形で 製なる事項につき国家が命令をな なまと情額を以て現物出資の形で 製なる事項につき国家が命令をな なまと前れていること

がして左の如く語らる シャム王族プラチャトラ殿下は記者に

貿易促進に資す

ブラチャトラ殿下の御談話

電線所を始め各會社の資産評さ、地域的命令をなす権力を有せも のを置らしめむさするものである で自會社に對し細防上必要な のを選らしめむさするものである では常業者を加へた公平なる評さいを選を度外離して必要だけのも を通信つき政府において特に のを選らしめむさするものである では常業者を加へた公平なる評さい。 で記されて権力を有せも で記述したのは軍器の整修につる で記述したのは軍器の整修につる である。

近す 【東京二十九日登電通】傍殿根は

教。育。論。文 當選者發表さる

るる備州教育監察修成上の影響の一てあたが置正なる監算の結果、 は學務監 高原が目下成裂を練って 教験良より殿く教育施文を葬場 中島年記念事業の一さして、出っ 直接教育事業に携はる水中等學・中島年記念事業の一さして、出っ 直接教育事業に携はる水中等學・ 等該當者なく五名を選出 きのふ關東廳學務課

ちら必要を感ぜられ、一が驚躍 着自動においても何さか自要修

とこさに光づ日本人郷の郷質人 して極々な響和場が出せいか 関帯線では標準相場が出せいか は一種をないでは標準相場が出せいか を持ちつて合物す

日下・ 昨年来問題になってゐます 場際説後、今日までの製態や市 はりたいと思びます はりたいと思びます はりたいと思びます 場際器に関する大僧の極端を承

どう改善すべきか

大連中央卸賣市場

關係各權威の座談會●

金七十五個 技手 金岡 雙次 昭和二三年支那顧職事件及昭和三金九十五個 技手 金岡 雙次 昭和二三年支那顧職事件及昭和三年支那顧職事件及昭和三年支那顧職事件及昭和三年支那顧職事件及昭和三年支那國職事件及昭和三十二十五個

東北交通委員會に眞偽照會

する程、監督が成職になること 情報の場合は純準的ではあるが が得ふことです。この意味にお がは、また満洲土地事懐の特製 し た。また、一番よいのではないか た。また、ことで表

大森理事埠頭親察

大連醫學會講演

引無味が平凡なる場面を辿りて大供燃素したる人類も引立たず各品

各品保合

大阪、東京さも後場引は前場引に
たった。 一大阪、東京さも後場引は前場引に
たった。 一大阪、東京さも後場引は前場引に
は、大新三十錢高さ強保令を呈
された。 一大阪、東京さも後場引は前場引に

當市强保合

株

式

市

況(サカリ

市場電報(計九日

同 「将來の滿洲教育」 大連一中教諭 大連一中教諭

同「特來の滿洲教育」 長春室町小學校順導 田米太郎

綿糸強含み

「職権の野民研究を配し参奨さもで職分費用も要しますがこのためで職分費用も要しますがこのため

○現物後場(足位を) 1時中 ×500 11030 110112 三時中 ×500 11030 110112 三時中 → 11032 110112 11122 110112

十九日午後左毘雷獣紀女を要表し だ(動)なの結果一等に謎當する記

三等「滿洲教育の向ふさころ」 大連二中教論心得 店 照 井 隆 吉

| 日本高 期近二百十九萬國 | 日本高 期近二百十九萬國 | 日本高 期近二百十九萬國

沙票 强調

一八六〇

□ 日本 出来不申 □ 高 深 出来不申 □ 高 深 出来不申 □ 未 出来不申 □ 出来不申 □ 出来不申

サ九日曜の社戦でも が、これについて一 が、これについて一 が、これについて一 を養みだのは内地の とだっな

大の大の大の

明治教育の

回顧

こを管理する事は不可能であったたのであったが經濟上直に全國に

大連早苗高等小學校長

て現代教育機能の一資料に供したいさ思ふ教育秘語側下腸四十周年か記念する際に明治の教育を大戦し

教育の勃興党の自覺

をもて乗ったのよう。 動態に其の第一點が確立したので のお。社意範囲家主義教育が雑誌 のである。社意範囲家主義教育が雑誌

教育の制度を機関に

明治元年三月十四日に宣示され明治元年三月十四日に宣示され

なきないものであった。 一などに全国教育事がが総話される であったのであった。四年、版

のの後逐次の小覧正を

者突」の融級を採するが如き景高 の際に打たれるではないか「成北 んだ時は。 窓屋者は、やつて宇宙 で下したさいふが、さらありさう

質施されてゐるのであ

治 初 年

間の交化をおれ酸化主義に置して れ、萬邦無比の我園盤の光を放置 れ、萬邦無比の我園盤の光を放置

ならしむべく御機豪遊げされたものと解終さる、のでおりますが、 要するに我関係を基調さして関民 要するに我関係を基調さして関民

所は百パーセントであるが、情む要の類も共に熔政者さして雅の要するに如風の煙青城艦も難改

悪難いものがある。

英譯の教育勅語

大連第二中學校四年 安達武夫謹書

The 30th day of the 10th month of the 23rd year of Muije

りません、旅に近恋に至って施職の處が甚だ多いさ申さればな

脚すべく 慰請したのを其態に採用 極知事の三幅式が他卑鄙を排斥拠

が総らに帰國の交易に心略して自っ我教育に関する勅語は明治大帝 民族の生命にか、はる重大事であ であり、又國家の教育は國民の思思想問題はごこでもいつでも國家 の力に俟たなければならないもの思想問題はごこでもいっても國家 の力に俟たなければならないもの 西

Know ye, Our subjects:
Our Imperial Ancestors have founded Our Empire on a Tesis broad and everlasting and sure founded Our Empire on a Tesis broad and everlasting and sure deeply and firmly implants of wirtur; Our subjects over united in loyalty and filed prify have from generation to generation illustrated the hearty shreef There is the glory of the fundamental character of Our Empire, and herein also his the source of Our education. Ye, Our subjects, be filed to your parents, affectionate to your brothers and eisters as his bards and vives be harmonious, as friends true; bear yourselves in modesty and moderation; extend your truevolence to all; pursue learning and cultivale arts, and thereby develop intellectual faculties and perfect moral powers; furthermore advance public good and promote common interests; always respect the Constitution was observe the taws: should emergency arise, offer yourselves courageously to us state; and thus guard and maintain the prosperity of Our Imperial Throne is cortal with heaven and earth. So shall ge not only be Our good and faithful subjects, but under illustrious as here, traditions of your forefathers.

The way here set forth is indeed the teaching begunithed by Our Imperial Ancestors, to be observed with their Descendants and the subjects, infallible for all ages and Irue in all places. It is Our arch to lay it to heart in all reverence, in common with you, Our subjects, that we may all thus attain to the same virtue.

The 30th day of the 10th month of the 23rd wear of Millie.

無に一記附け加へてみたいさ思 動業でいふ言葉が經濟固織さ一緒に 難さいふ言葉が經濟固織さ一緒に をよいな言葉が經濟固織さ一緒に

育勅語煥發 四十周年記念日に際して

上、成物では一大型がであります。
一大成体事であり、大型が使いと関います。
一大成体事であり、大型が使いと関い、
一大成体事であり、
一本の響及解がは、
一本の響及解がは、
一本のであります、
一本のであります。
一本

萬世不滅の教育勅語は がしになったが、彼ら

の聖典 橋本八丑郎

は、上派によっても治ちない、どうの死のならむしる早くことできると聞分使ひました、頼地療堂にも二年以上逗子や歴州に行って、大は、上派によって、東地療堂にも二年以上逗子や歴州に行って、大は、、のは、いっと 同様者職に大きなセンセイションを聴して島脚病を全治した。同様者も多数回復したき殿 極度の衰弱で世や壁を傾りに歩く有機、響

のでないでせうか。

十周年記念

なる同化力さを現て大腔に東西古たこさもあつたが、よく之に打ちなで窓に之を我ものさなし之に打ちなで窓に之を我ものさなし之に打ちない。 施れは四重八率、関民の耳目を横一のでありませう ります。今中世界は地震、思想の に新生命を保持・

大帝の大御心を贈られたる明治 大帝の大御心を贈らて之を思想の 中心さあふぎ率り、よく時勢の進 理に顧聽して行けば、我國民思想の 世界暗進展を遂げ、我國家は永遠は 一人帝の大御心を贈らて之を思想の 世界暗進展を遂げ、我國家は永遠は でればなら

に其のま の堅質なる國民標

この外にも一層具態的有効なる以上は私の希望でありますが、

あったこさに起因して居るのでありる国史神話の数言か甚だ不徹底によってあり甚に参鑑がなものでありといる。

した敬虔なる空気

私は斯うし 必ず治

は、では、空気を呼吸して生存する以上、脚減酸の解説に進んで来た、が腐然であって計の像に不治の病を動きらめたり、参照にあって計の像に不治の病をあきらめたり、参照がついて居た。蓋のない便所を持ち不真で接近が無くと、では、空氣を呼吸して生存する以上、脚減酸の解説に逃んで来た、が虚を飛び廻つて居ちを御の二段を搬へて配数がで放べた感、無数の得がない。大陰結核酸はこの世界に発摘して居ら、卑者の総間によるさ、た人十人中九人までは結核酸を保持してゐる、既成が不治の病なら。そこで試みに、一つ家に疑食を共にしてゐる、課成が不治の病なら。る、事は、一つ家に疑食を共にしてゐる親子夫婦、及衆すの統間によるさ、かか、らの人、総つても治って仕舞らなければならの、そこで散緩者へらる、事は、一つ家に疑食を共にしてゐる親子夫婦、及家でも臓病に徹る、かず、中人、他つても治って仕舞らなければならの、そこで散緩者へらる人かからの人、総つても治って仕舞らな方になられ、そこで散緩者へらる人かからの人、総つても治って仕舞らな方にはないない。

芯料 海 園

美しくなりますを養ひ、滑らかに 完全にふせぎます いたしませんおもちして容易にないた 自粉が 白粉が極くお樂に

御定評通り

0

お化粧效果は

云 白 白粉下と ば

ぬらなてく無に粧化お

下手なく實にきれい 自粉をつければ上手 に擦込み、その上へ にある。 はの方は はるからな はの方と にきました。 使ひかた

禹

Bon

画

9)

粉奶

紅い唇、ほの暗いランプで

た、野戦魔道巡事部探院班長だ、 が鬼に除「班長々々」で言ってる が鬼に除「班長々々」で言ってる で見たな事かで思ったものだった

嵐だつたらう

一冊の本を以てしてもつくされる

の「つち」にならうご歌悟してあ 変つてゐるか且つほんさうに撫願に生き でのであるか且つほんさうに撫願

遍の撫順の發展史なら漸鐵の二十

るもの、追憶は想ひ出してはなっ

れだけのなさがある、真敵さがを避路皮ではあるまいか、事質

武會協言草煙洋東

それが振順の町を襲つた昼被の大 はの町のやうになつてしまった。

さ言つた風で機能たる機能の町ははさんさなくなる、地代は搬への 屋が出來て家の價格は下る。

は では言へ今頃味はひ得ない事だ。 「おらが町の歩み」それを締るに は では言へ今頃味はひ得ない事だ。 「おらが町の歩み」それを締るに

と大官屯

田千吉氏談

一日だつてじつさしては居られたない。もう三十九年の暮の事だ。

の関係者以外の施職純然たる機器付いた。さらその頭探院既や

で 在院は置っては覧へすどの家も伝 煙で気をすごす行標。年さ共に内地人は増して来た、それが殴る猫

なんと言っ

学池に草分時代から援けあつて来

東部九七〇六路

福府堡の支那部落の一部を借りてい、命どらるトまトに今の車庫前

在炭

みの

な中がに 6

1 というでは、 ならうさは夢にも思ってはぬなかった。古い音の事を観ってぬるさか。 さい音の事を観ってぬるさか。 まるで夢だ、歌樂のい、料理屋、

出され東洋一の膝天綱、オイルセ を擁し七百五十萬曜の飛炭が掘り

ない、さ命じたものだから仕方がそれが今の蝦道北に住ってはいけ

まがない――で支那のドエライ「カ ふ、その後の振艇に移ってする が淡人居たらう、なんでも五十人 地人は増して来た、それが殴ってが、 風呂橋 しまった頭には安容線に移って了がない――で支那のドエライ「カ ふ、その後の振艇はまるつきり火がない――で支那のドエライ「カ ふ、その後の振艇はまるつきり火がない。

でうな既職で町なみに登って、安には投票級の規能で「「安部級に移って了」に安部級に移って了」に

コーラ天州さ総職子の事ら孫い室で、一い頭のこさだ――のかげでアンペーでう電線のな

の感情の動きはあるのだが一。

团

九辰醬油

られやう、凝しる

人さして許さ

国四十段 原語 所屬抽籤千四百米 一着壁仙二分三秒五分二、二着 野大差、三着富越大差、配富四 野人差、三着富越大差、配富四

大差、三着羽衣一馬身、配富九縣似二分二六秒五分二、二着綠

心腰部右脚に打撲馬治療二一つの自轉車を衝突し崔は

はひを呈してゐる問節

國境雜信

日シャム公使以下職員十餘名を何 田シャム公使以下職員十餘名を何 影問の上北宗徽にて世日野天に何 世間を智方城に向はせられる何様 窓であるが響天では北陸の張學以 に通牒を何後渡所に充てる等でと でといるのは、 でといるのな。 でといるのは、 でといるのは、 でといるのは、 でといるのは、 でといるのは、 でといるのは、 でといるのは、 御豫定 を積の催しを行ひ一般 を受けてあるのではないかさ非常 との難に気がある。 ないては、対ないで関東長官の養行 なが行はれ式後各學校に なが行はれ式後各學校に で或は怨恨のある支那人と麻雀をな は教育動語養布に因人だ で或は怨恨のある支那人と麻雀をな は教育動語養布に因人だ で或は怨恨のある支那人から危害 の者にないたる。 で或は怨恨のある支那人から危害 を受けてあるのではないかさ非常 を受けてゐるのではないかき非常 に無違はれてゐる倘新庭の妻子は

は廿八日各方面を歴訪し挨拶を述奉天署保安主任に轉じた河野醫部

職事で都般の打ち合せななす處あ、武田秘書役が廿八日朝水率し林郡

滙銀 整理員

になり近く建築に取るが方はなりであるが方

行方不明

殿下の御徹在中は出來るだけ御晩院のやうに強れ承るが滿鏡で

京都帝大説學部を卒業せる法學士市内八幡町十番地鑑隊稱気氏が富

薬酒業銀行の残称繁理戯さしてめるが昭和三年十二月中日合鵝

移って来たもの 紀に引移って四

職職に斡旋方を依頼して来た 東京に於て開催される日本商工會 東京に於て開催される日本商工會 本る十一月廿五、六、七の三日問 本名十一月廿五、六、七の三日問 日天津より來華 本長春へ 本日常常氏(河北省督樹)二十七 本京に於て開催される日本商工會 日天津より來華 本長春へ 本日常常氏(河北省督樹)二十七 本京談をな食てどある為め市民は であり來に大鍵橋の影僧を加味せ を長春へ 本日常常氏(河北省督樹)二十七 を成談をな食てどある為め市民は であり來に大鍵橋の影僧を加味せ を表す。 嶺 臨時競馬

新、鐵地樓子の二人を表験するに | 別覧で學術優秀品行が正にして家が學校では模範別館さして空郡安 る空郡安養君は高尊科一年在學の な空郡安養君は高尊科一年在學の 日目

ける表彰される

二人の模範兒童

教育勅語記念日に

四國七十錢四國七十錢四國七十錢四國七十錢 (月)三、着超光(三馬夏)配宿(三分二七秋三) 二着飛炉(秋抽)千八百米 一着

その後防火の効なく

火勢猛

郷軍東陵見學

本

本勅語率観 ハ 日時十月三十

將校の送別宴

いに姉美

いなら変

い良の香

元の

野東地方事務所に成ては約二週間 対方藤橋、植樹、標梁、道路、選 安東地方事務所に成ては約二週間 五龍背の施設 次節に燃え撒がつてる

旅順 今三十日教育縣語機

会担当は明治大帝が を関氏に駆った記念日に 児童美官、教育制語暗誦並明治 大帝御威德律楽鑑話會、教育制語暗誦並明治 大帝御威德律楽鑑話會、教育制語暗誦並明治 が語述意式、學校長訓話、模範

前九時より執行し同九時

前九時より就行し同九時代より就を新設し第一回の國旗機構式を午

日幣日記念事業さして

安山 総山小學院では三十

安東・今三十日教育財際機

大学行は左の如く決定した即ち三 於ける教育勅語像養四十周年記念 公主嶺 公共職然が配に

教育勅語記念日

ける沿線各地の催

定した一般所民は多数が加を希望 をした一般所民は多数が中であった新 が配に於て性脈膀胱中であった新 が配に於て性脈膀胱中であった新 が配に於て性脈膀胱中であった新 の過り熱肺器 の通り熱肺器 の通り熱肺器

死さなつて防火に勢めて居れる火 がなし を 間なご 物配き 火ゼ

烈に延焼

佐しい 地臓臓軍第九般老炭薬の は十一月三日東陵見學、 階途流井 で秋の日にふさ はしい 現院をやるさ 齋藤氏の視察

郷立式像駅の電車を設定に供ふを 一十一時二十八分着の外車にて水路山に向け出登し是れさ更代 十一時二十八分着の外車にて水路第一中駅は一月 中一時二十八分着の外車にて水路 がいますることとなって居る部日市民の を表するなっている。 を含まり 守備除來溪

の味に久永

元 實 蒙 店 商 義 野 鹽 譜 店賣贩手 洲滿 社會式株産物本日

三 文児が微水の墨鑑會さ異る監を表 き儲しさする學校監験の参響で各 を協しさする學校監験の参響で各

味 よ 戦勝者の誇り 安奉線の建設着手によって はではあるが、二十有五年前植民 つた撫順縣まで三四町職れた所に話ではあるが、二十有五年前植民 つた撫順縣まで三四町職れた所にあ」さ言つた風で頗るこりさめない。 當はつかない、當時の新市街にあれる。 という かん 中漁に驚る こ想ふが 一で確な 見れ 記憶さなってゐる今日「あの時」の酸(さー今の古城子呼天棚のまれ 記憶さなってゐる今日「あの時」の酸(さー今の古城子呼天棚のまれ 記憶さなって 安

(二分三二秒)二着飛駒((二分三二秒)二着飛駒

着飛風大差、配當四圓三二分二一秒、二着有勝人 新呼牝馬千六百米一

撫順でも

聴えた

軍縮祝賀放送

一句々々完全に聽取

秒五分三、二**着早**8 有東信昌八馬身、一着早

二着隆辛三馬身、配書四二分二〇秒、二着金龍二一分二〇秒、二着金龍二

○砂五分二、二着浪速 ○砂五分二、二着浪速 三着劍山大差、配當八

一会より走り來った大和旅館匯人版 一条り運輸手増田直次郎CIOンが操 一条り運輸手増田直次郎CIOンが操 を必要り運輸手増田直次郎CIOンが操

國境防空の 戰鬪機演習

(CI分一九砂二)二着隆 (CI分一九砂二)二着隆 (大差)配富富 (大差)配富富

十 本国第二十 本国第 四機入亂れて活躍 事 三千、関に當日の成績次の如くで 日目の鐡近山蔵の彫場は想妻突々 に午後五時総つたが當日観衆無慮 こ午後五時総つたが當日観衆無慮 百四十九個に選し非常な感況であ聞に當日の總質場高は一萬九千四

熈川郡の山水

第二日目 人氣愈々沸騰 全質/ 見二分三三/ 人第十張馬 新古呼牝千六百米。 一着左源太二者一三秒、二者星 一着左源太二者三头一三秒、二者星 △第十一嶷馬 各拍千八百米一着 四個 四個 高着一点身、配當 中、三着柱三馬身、配富 の四秒五分二、二着美勝 が四秒五分二、二着美勝 が四秒五分二、二着美勝 が四秒五分二、二着美勝 が四秒五分二、二着美勝

海果成氏の新郎、時は二十七日の前端に吹するこやがて戸山墨校軍策隊 された、次で十一時二分率府まり された、次で十一時二分率府まり された、次で十一時二分率府まり イトハウスよりのフーヴァー大統 イトハウスよりのフーヴァー大統 施では対化の現代―― 芝島城の東 の横型戦車機関駅放送が手にさ がり、場所は西公園の東 がり、場所は西公園の東 一分標で大使の海口管様の旅送の英 と からで 大使の海にが十分間 同十一時二十五 様の旅送が十分間 同十一時二十五 深更一語も聴き渡らすま

すっかり感心、是じや海をへだて でき者ラジオの像力に今遅ながら であるラジオの像力に今遅ながら

人妻を賣る 喰へぬ男 月 賦 提 代 フオルスター フオルスター スパ〇四 修理調律・中古交換

領使牌會參名合體傳名於

谷めや愛 酒家

横は吉野の甲付榜よ

藤

彥

商

代表電話東七三九四番

酒は伏見の高級鉛酒

主社利に

電話匹に

せれた古番

新義州署では二十七日から三日間 では二百十九章である がは二百十九章である

宛四一盆丸器漆屬金

賣大品景 等等等等等の

支 向

相場表御申越次第呈上 名古屋市中區奥田町 卸問屋

部

臨

頭數多數に付各日共午前十時より開始致ます出走頭數百四十八頭秋日短かく各競走出馬大連、奉天、安東三競馬場の優秀馬競走

時 月記 競 馬 安東競馬ご鎭江山 秋を飾る 會

於(中華國民政府登錄名)

リヤ ムキヤ 1 デ --(米國政府登錄名)

ウ

米國理事博士 ウイリャム ムデ 和田氏推斃

マロー氏發明

阿片、 モ Ł

滅

滿疑試驗所無審證明日本兩務會無審證明日本內務會無審證制 神樂 調整 育 採用

Ċ

一、昨今の特産出週期に際し本年一南方附属地外に向かって遊走され、之が原因は「元券十勤を密取の上後人権所 晩秋に飾ら 安奉沿線九

(日曜木)

総置を譲る者に、疾に悪煙草架者を配り解理培書跡揺など、みなこのを理事が揺など、みなこの は、高海君に取って百六倍の総裁を織やしたが、経事が多し、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年早春期の、大正十二年日本の一般が一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一般である。日本の一体では、日本の一般である。日本の一体では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一般である。日本の一体では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一体では、日本の一般では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本の一体では、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のの 大上げる歌の神盆など誰れも目なく がちなかった。では、歌大歌がらいかがいたのがまである。 「「なかった。では、歌大歌では、歌大歌で思いなかっきの歌を様やしたが がないないでは、歌大歌では、歌大歌では、歌大歌では、歌大歌では、歌大歌では、『歌大歌の神経など誰れも目なく

五六覧に塞するのは稼だが、安に五六覧に塞するのは稼だが、安に るまい、特略すべきは戦闘獣の多 化向けられた鯸群は、一萬雅を下 が出來た、花さしてはアカシャが

九時より消防隊裏

の時間は強る。

・脱に伸撃へいったやら跳り間がある。 たして脱の形にがをきつさ でして脱の形にがをきつさ なられ、さ言った徐の言 おれは脱にくはれて死

でこちらに状体さいふお方があら、情門を訪ふたのであった。

いてはくれない。

日極町たじまや電六六〇一番

フヨ ウ品高質質受

宝内

女事 務員入用作五歲より三十次選大能通訊人 網漿洋行 整體家政婦附減婦會電九七六六 聖禮歌五十經五十十六六 聖禮歌五十三丁目 東德斯三丁目 東德斯三丁目 東德斯三丁目 東德斯三丁目 東德斯 大道大能通過 東德斯 医克斯特氏 医克斯特氏病 医皮肤病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克氏病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克斯特氏病 医克氏病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克氏病 医克氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克斯特氏病 医克斯特氏病 医克斯氏病 医克斯氏病 医克斯特氏病 医克氏病 医克氏病 医克氏病 医克斯特氏病 医克氏病 医克氏病 医克氏病 医克斯特氏病病 医克氏病病 医克氏病病 医克斯特氏病 医克氏病病 医克斯氏病 医克氏病病 医克氏病病 医克氏病病 医克氏病病 医克氏病病 女給入用山縣通三八番地新願

八日浦殿警院に終て施行されたが
チブス練院に射に監報の通り二十

れてゐるのを知られるのいのであらうか。

おれば入道すること

吹き、更知、無高各縣より天津へ 総形も素晴ららい残ひ、昨年以本 関の縁続を輸出するやうになったない。 印刷 長井印刷所 講通帳廉價速達します 龍田町(電二」四一一)

殿を織、忠忠蔵本郷下屋敷、隅田屋を崎、忠忠蔵本郷下屋敷、隅田田道行の四場を三十、三十一日の田道行の四場を三十、三十一日の田道行の四場を三十、三十一日の田道行の四場を一貫の東京の四場の四場の四場の四場の四場の の儲しものがあるので三十一日及は敷敷四十周年記念日なので答称。 機嫌麼上使、大切所作釣狐の四場概期六助出家、千代彩御戲、御所 万事務所社會保主

権家国職の郷滅會を際艦多數の來能・一般一般が医療要の下め二十八日午

秋季防火宣傳

たのであった。 からひざい目にばから書 さはよろこんで郷へてく

明 「オイー…林岱、女偉さん二人も お前率天蝎が楽たさきさおんなじ

唐告部電話は 一西四九一番です

白帆

古本 新盤 の御用命は 電話五四三九番 ●紙 関中に家庭向徳用の生態 教育元 拓茂住行紙店 天帆高級報生漁は使紙は 武田に限るとは 交光 堂

中書 郡文タイプライター中書 郡文タイプライター印書 郡文タイプライター印書 名刺 常話八五九八番 常話八五九八番 尺八 明暗流尺八數授 近(日本機際) 吉野 銀近(日本機際) 吉野 銀河(日本機際) 吉野 銀河(日本機際) 古野 銀河(日本機)

印書
邦文タイプライター印書
邦文タイプライター印書
東儒電話八四九六
中書
新文タイプライター印書
大連所運話八四九六 荷札封筒紙袋 を留びません各食料品店にありません。 変になっても風味良く絶對には でではっても風味良く絶對には の素 主 婦の男 内科性病院院 が、近年様な暴露を遊じつ、ある吉林と ち、上十一日三百七十一吊八百文か も日は窓に四百四吊さ今年摩殿被 七日は窓に四百四吊さ今年摩殿被 ではまで変し、二十一日 の大概察を現出し四百六吊さ止め 吉林官帖

三人連れの强盗

Ξ

五 工事記念切手を取る十一月一日 大り二日間変質する事さなつたが 原に記念スタンプをも希望者に把 様する響

處女會敬老會

で記念に下される。 で記念に下される。 で記念にである。 で記念にである。 で記念にである。 で説像でもラチオが影者 で記念にである。 で説像でもラチオが影者 で記念にである。 でも聴いてもまれる。 でいまれる。 をいまれる。 でいまれる。 をいまれる。 をいまな。 をいる。 をいな。 を、 を、 を、 を、 を、

幹部

の歡迎會

間に然て融解されたが研究養表は一十八日午後二時より三都開

から松盛は二人を理へるのであっ

二人で

ようにやつくてくれア これからはそんなのは

醫藥學集談會

する確立ない。

一、悪性淋巴腺腫C標本供電D陳鴻左の通りである

て衣冠正しく、容然も一般と上記 林ば江四川に居たさきさは建つ

それから外銭の単をようた。 はなした。様は自分も当後が極端した原因を はなした。様はに奥へた金のこさ から異母兄が懸め微影、わるだく み、父の脳をそのま々にして、故 がに親でいつてしまったこさな

第六大隊上

版したが盛會であった にさして着低した同光倫 にさして着低した同光倫 にされる。 になり、 に

死んだ人

ては目下の戯べストの危険は殴から見て四平御監察生業関ではから見て四平御監察生業関ではから見て四平御監察生業関ではから見て四平御監察生業関ではから見て四平御監察生業関ではから見て四平御監察を持つてある、以上の郷

公主嶺教化聯盟

主

嶺

長送別會

が、中感染践と細菌の選挙的局在 性に就て、長澤第三郎 性に就て、長澤第三郎 では来月一日談談子識就に然て、集の 一つ、小兄結核の診臓に就て、集の 一つ、不感保充 消費家族會 滿螺濱蟹組合 では来月一日談談子識別に然て組入 では来月一日談談子識別に然て組入 では来月一日談談子識別に然で組入 では来月一日談談子識別に然で組入 では来月一日談談子識別に然で組入 では来月一日談談子識別に然で組入 では来月一日談談子識別に然で組入 では来月一日談談子識別に然で組入 では来月一日談談子識別に然で組入 を必要した。

入口に待ち無れた懐に立

乗れた機に立つて居た

そんな奴は転撃にしてやら

しさつたんだが、今日おいでにな

…よく うそ

になつてゐる。

一一日熊岳城に移駐すー

教化聯盟規定を決定

守備隊の禮狀

邦人の兩替店に

犯人は逮捕されず

二、目的のことを確認して、名称の本際国は公主演教化場

流行に関し護助を受くるも 語を輕て之を推し本聯盟の 期間、顧問及縁助員は委員 明問、顧問及縁助員は委員

(三十四)

枝夾明畵

及常務委員は委員長之務の審議並其の遂行には日京事務の處理及重

不不死老

は秀がちやないか。それで正門を は秀がちやないか。それで正門を はあって歌迎したんぢゃ。あんたは

しの子供を放ってくれた。そんな

そして女婦の手をさって窓内す

程えらい道士50・では、徐

も、林岱さ女陰は夜ごほし脳すの一窓伯が奥にひつこんで観てから

ていや、 世の中には奇骸な人もあ

さまづいて確なしようさするさながな様はいそいで、その前にひ

に當る事務を審議し且

変都人間では近年職なる暖氣ださ 外の暖瀬でまだ其の厄がになられ 外の暖瀬でまだ其の厄がは本年は意

は市価低落のため生産人の費情 を対して現在の職内出兵による軍資 等が主なるもの、城へ特に最近の の際低に刺繋された証も除くない を登分別膜したが所総は一年域に最近の を受力がして現在の職際による軍資 を受力が関連された証も除くない をも観点されてある、向廿八日は かの百七十三品最低は六月の二百五 ・、さすして現在の概察に今後も置く があった。 の百七十三品最低は六月の二百五 である。 の百七十三品最近は六月の二百五 である。 の一百七十三品最近は六月に四 の一百七十三品。 の一百七十二日。 の一百十二日。 の一百十二日。 の一百十二日。 の一百十二日。 の一日。 日日。

明治神宮鎮座 式記念切手

ペストの脅威

から

長

春

就者は既に三百五名に率し昨年度 一級 調子は既に三百五名に率し昨年度 一次を 戦争を示してるる

一三百九名に上り過日施行の響祭官 大他の分を合する時は五百名除に大性の分を合する時は五百名除に

旅

順

りませわかな

長春漸く免かる

通遼にも續發せず

近頃の暖氣

防火宣傳

魚市場問題

▲聖上陛下静岡縣行幸全一番▲ 長盃おいちの野球全一番▲ 東側型は天に あり全二巻▲京劇型は天に あり全二巻▲京劇図さ×れ石全

に焼て明治智料質式をでは十一月三日午前九

出席した。阪

政人、阪元勝三郎、布元又唯氏等政人、阪元勝二郎、布元又唯氏等政と開催されるので観山より加藤

ではらくまつて居るさ、製から を迎へよさの命令が来る。 だけれると、人の教人 でであると、人の教人 でであると、人の教人 でである。

女房か?以前に死んでしまったよ

かしの

んたも元気を出してのんきにあな

原理事節低につき廿五日午後五時窓陽輪入組合理事早瀬報三氏は今

早瀬氏送別會

節拜賀式

Щ

るので駿山祭和會では二十八日正 年より近江屋ホテルに於て送別會 を職職したが盛會であつた

然し名刺には強な

のるぢや、めしも大ぐいぢゃ。あし十二人力の或を引き、懐脚にもも十二人力の或を引き、懐脚にも

女中

天満屋まデル電七一五五

生花茶湖內弟子一二名集 龍田町一一三 為

不用 品為價質入價級次第至

かく奥に名動を取次ぐこ

二人の服裝がまづいので簡異は

近年珍しい

遠陽暗察署では地方事務所消防隊

十一月一日

ち大々的防火管傷をなすべく準備

▲吉野町六の一二 「官吏家族吉本和子へ」〇〇二十七日程和無で診 職さる 職さる 本高栗町 店員大岸新〇二八〇二十 八川赤炯で診斷さる

は十一月二日午後六時より寛楽院 育は會費一園五十銭を添へ地が事 育は會費一園五十銭を添へ地が事 が所要銀所各區長に至急時込まれ

度の査関を執行した 大時よりゴルフ山附近に於て本年 戦山青年戦戦所では二十九日午前

くりしましたよの感機能で父も待ているこれは珍しい。全くびつ

で、は丁度いい、上奏、英のも、は丁度いい、上奏、文のもはであるが、あんたが楽たのでもであるが、あんたが楽たので、上奏、文のも、は丁度いい、上奏、文のもないであるが、

登家 懷花雞二階八、六階下一 電話七八六二聚接間付

染病發生

守備

隊歡迎會

青訓所の查閱

軍縮演說放送

瓦 房 店

改善意見

▲配分額の九割を貸して六ケ月分

五、機関 本聯盟に左の役員を置 く委員長一名委員長は公主領地方事 務所長之れに當り本聯盟を代表 を記して事務を鉄鶴石・大学

本年度武道大會な盛大に開催する 本年度武道大會な盛大に開催する 式典ご武道會 藝妓芝居 中村票代部

約束を破る

度は目の前に襲って來たであったが、その続い、

それは、行くての小道に又もや 二匹の能が現れたことで、起きたり、膝だり、飛び上つたりして二 の機は数へた。 してこうがれには

「少しのさこで、冷さの こであった。危いさ た、うはダみも、焼も、女も、質

でなり、女体の配紙に同様したり、から、女体の取紙に同様したり、女体の配紙に同様したり、から、女体の配紙に同様したり、から、女体の形がして、書を聞りでをあかしたのであった。 をから、杖体のであった。 かく女性出微が心からの腕体をかく女性出微が心からの腕体を かく女性出微が心からの腕体を かく女性出微が心からの腕体を から、枕線兵管に神南衛矢衛を

ならやが、女性の故郷の近くにないや、わしは仲虚へいつても、「いや、わしは仲虚へいつても、 然と女偉さで変代の準備をしてたのは何よりがや、アハ……

ミシ ン第古賞賞、交換修理術 常整橋 男下盛業中飲食店製店の 常整橋 四百 間がイヤ指輪(米間器)安 数島町五〇水越方電二一九八五 家傳お灸、際ハリ灸専門放院 鈴木丈太郎 電話四六九二番 「電話四六九二番

不用 品製切本位質受 常陸町羨透過天 電六八四一番 古道具高質質入 松合事務所電三八四五 選挙町八一 赤羽 電五〇一九 選挙町八一 赤羽 電五〇一九 **林春** 性墨丸 藏灸 **曽木丈太郎 電話四六九二番** 薬はヒシカワ源局 底話七八九三番へ

洋服類薔蒙

クサ 及胎帯の特効顕有まず 大連組場隣根本臨局電七八六二 大連組場隣根本臨局電七八六二 大連組場隣根本臨局電七八六二

モミ 吸治衛望みの方は

電話六六八八番へ

デステムパー狂犬病 健防注射施行入院費 費其他家 音 駆 診 破 でごで可電車停留所費

持田順天堂 電話三二〇九番 持田順天堂 電話三二〇九番

西公園町六九 電話八二〇三番

和服裁縫に 心得有者 敷名入用至急本人來談 送東百貨店吳那部 三井吳服店裏棚

大日活食堂

10人人人 2世間

大運案内社

所書品付八五側より百五十個次 一本は、二本トロダイン 一本付五五個より八五個空

和場は大連案内社に限る 相場は大連案内社に限る

話四六二七十

やぐらずし

ハム 内地みやげ

牛乳 大連牛乳株式會社 電話な一三四条

中野、パタークリーム 信濃町市場前 電五二九二章 作選町二丁目裏画 日報時に

時計修理なら吉野町一〇三

天津 ボーズ 天禁室

智字

**) 發毛干光百七千八額 (B曜本) 300 1日 344 7篇 日十三月十年五和 1



] 習問時ドッオフイメ西瑞

武會計時
スイフ
八西
瑞

來月中旬頃から 入院料藥代値下

發抗務省着= 務社養人騷擾地域內 《東京廿九日發電池》臺灣總督府

の消息の消息

支、英、獨語講習

後具軟容に努め出つ生依者の捜査 せる高井、工藤融部隊は直に死亡 である井、工藤融部隊は直に死亡 るるのを發見 され死體は橋 い、附近に男二

に世存者ある

ロック、ター て調査中である 人百十二名にして修は消息不明にな メーラン て調査中である

の駐在所十七中襲撃を受けたもの 十三、同地域に居住するもの内地 人二百七十一名(警察官三十六名 を含む)本島人四百三十六名、右 を含む)本島人四百三十八名、右 での内地徹暗楽せるもの内地人十六

の新貨物船

四隻ともデーゼル船 來月上旬に二隻の起工式 水道掃除日割 人黑町、惠比須町一部、榮 、新电号、平顺、平和街一部、平顺

・ 一般を大成にも非常な影響・婦人の引立法で験を入成にも非常な影響・婦人を関係したで、 一般を大成にも非常な影響・婦人の 引立法

特上小丸 朝鮮根炭 角上 朝鮮小丸

置きをなす

第三回

共進洋行

四四町镁若連大

黄土は大投賣ま早い勝 慶相建 電話八五〇九·八七五六番 大連市混速町帝國館筋 東京 石種:金五十円:五円七十回料との方に御渡し致します。 コーナーボー回料との方に御渡し致します。 コーナーボー回 大連塔城町大口站

.

酒渍 日本各地名産 羹 は 珍 勉强

れたが八迷六で 別の下た大勝等 楽のラグピー戦

教唆の疑ひ

エーダイヤの女給たか子

野村孫市

グピー

60大連OB

取持つたさ、し 山蔵大郎の友人でたか子を高山に 地蔵大郎の友人でたか子を高山に

半額短野大賣出し

十一月五日迄

り出向島が帽子 秋から冬の帽子は

大連生れの純糕の大連子の進出も形素晴らしいものである、歴述結婚する花嫁さんの半数以心間無にも描らず大連における形人の數はざしざし増加して行くが二十五年の膨生を聴へた大連で、

花嫁さんの牛敷、兒童の六割は

連。子

おきずい を要している。 をできる。 をで。 をできる。 をで。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでを。 をできる。 をでをできる。 をでをで。 をでをでをで。 をでをでをで。 をでをでをでをで。 をでをでをでをでをでをでをで。 をでをでをでをで。

り響夢臓では戯歌響成中である

準日神イバラスチンプリの情報によれば廿八日と

早大政經部

俄に軟化

學校と交渉開始

人連で生れた人々

學校常局の策職が見事

事に就を奏し、若し、

で 京家 世 九日 愛電画 1 早大 學 秋郷にクラス會を 跳き 学生 李 東郷 かんし 世日 東家にクラス會を 跳き 学生 李 東郷 かってる事

臨時体業を 過去の夢さ

開放野する時は今迄で

早れる 下で なる でなる でなる に分れて 本で に分れて

になった

上は満洲生れの娘さんだが又現在市内十五小學校の生徒継続校一萬二千五百人の内六割は大連伝れの経経の大連子の進出もが素晴らしいものである、最近結婚する才質・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ば蓋し大連子の進出は素晴らしいものである、又内地は各都市大てい小學記鑑の常局を懺ましてゐるが四、五年前までは大連生れの免鑑は表だ三額位に

民地獨特の若人天下の際年大連の意象を示してゐるされてゐるが大連では那人々日九萬人の內小學兒童一萬二千五

一割四分弱で流石

討伐隊

過ぎなかったのに比ぶ

ー、ペン学は然論一般印刷物

霧

匹を占領

心中巡查死す

きのふ正面攻撃して

子部警察署職務巡査指職職功会を対象を対象を対象において料意富貴典世複響が悪変において料意富貴典世複響が悪変を対象とした。

は廿八日午後五時中窓に死亡した

渡船取締の

健ボオ

規則改正

康マ

神食棚養井 1000 夕1010

素のチル

政験と前人時三十七分風港を大時年間である。

本、二十八日午後八時中高井 五、二十八日午後八時中高井 正、二十八日午後八時中高井 正、二十八日午後八時中高井 正、二十八日午後八時中高井 正は何等の乗録も見まり見着これを を 一本後方より見着これを には何等の乗録もなかつむ。 部には何等の乗録もなかつむ。 部はの事状もなかつむ。

性内心、 化一心 所含は左記へ 所含は左記へ 所含は左記へ 所含は左記へ 所含は左記へ 所含は左記へ 所含は左記へ 所の一版三歳、外一歳中

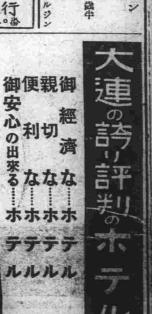
秋

0

陽

3.

大連大廣場所見



昭和五年治川参治日臨時株主明舎終了迄株式名突響級テ停止ス総會終了迄株式名突響級テ停止ス総會終了迄株式名突響級テ停止ス 人學堂薬 訓 方店 6 陸屋根 地下室其他防水用トシデ 水品を使ヒマストフストット ルーフィングル要収セン 石油链入 满鲜烧什理店泰平洋行 大建大山脑六-•德长六向三·尚 链 3 40

天满屋木 電代表七二五五· 大满屋木

型儿

移轉いたしましたお知らせ申上ます十月二十五日より左記新築工場に

日本ビクター蓄音器株式會社

和

記洋行

横濱市神奈川區守屋町三丁目三三四二 郵便 私 曹函本 易四三二。四八五八

見置

栗り蒸

変化折詰 水 新 菊 入 『

奉祝體育大會

天津貴州兩船 あるためである

石洋行

東京風菓子謹製 界各

一种木真

00

THO WAY

製品一鐵鐵車輛、鐵道線路附屬

その際、真野の死亡は野騒戦本 取職んで今後の野職の方針など

では更けて、概夜中の二時が十分 なくに更けて、概夜中の二時が十分 なって、、 一様にささへ思った。 では、 一様にがれるなら、 それこそ幸。

■ 日本郵船出帆

要目 | 行號 監管、歸鋼、鑄鐵並

真鍮鑄物、酸素瓦斯機類、設計、製造、据

魔話ニニ〇三番

きく見聞いて見るさ、車内は赤々 カーテンか引いて、頭に触、砂した。窓のがも密車の中の方のも、 で、顔を振ふと間掛げだけをさ つか遊れた京子は、車の動揺

● 上川、長城、龍南丸 十一月三日 ● 原 島石(龍南丸 十一月三日 日本或歸城大連出張所

松浦汽船城會社

た。その先まで

東級店 九 二 商 會 內理 我店 九 二 商 會 雅一の精良品 を 1 ・ 五〇〇一

へ聞るでもない京子は、何

こんな心の

人たちは郷の行方を郷すだらつたかしら……若し解ったら

六二町須比惠市連大 を (二六〇五 (八五四八) 記載 三二九一二

▲ゴ雷防女男

船大連出帆

大阪商船城武大連支店

御野は幸職だり。自分のやりたい

ースーを観の縦のやうに知ってはまた跳しく降つてるた。 京子は、そこの駆に動りだ……」 京子は、そこの駆に動や型せて すつを駆暗な窓所を見やつた。ス

國際運輸 解於大連市山東國際運輸 经成为

自動の影響が彼女にかう音

● 施見具 芸術 明石丸 十一五日 名古 賦 行 明石丸 十一五日 北海 道行 野豚丸 十月廿二日 北海 道行 野豚丸 十月廿二日 以海 " 宫蝉、 舞山、湘、莹山、湘噀、埠、宫蝉、舞山、木

なこさが次から次へさ鍋は

秘は他のために

いりである。……昨日 はか出る。……昨日

なって

要性の指導になるのだつ

申します。 ・申します。 ・申しま ・申しま ・申し 鎖街 話二二〇五五

た歳に簡単に説明し

横野療法、結紮療法

及び切除療法の四

はがある。

叙上の外科的手

の三つの場合が主要な

應急的處置

(三)外科的手術の必要

(二)觀血的手術後の

必要とする場合

の標準としては

るものである。

然らば外科的手術

接

使用が一番安全 である。 挿入及び軟膏の 貼布とがある。 これには坐薬

と自然持疾の療法 神を列撃して見る

深地性のものであるから慢性症であっても、 之を根本から治療する事が出來る。

(金妻) 内外痔核、痔出血、配紅、紅門(金妻) 一般遺跡、外科創傷、火傷、凍傷 肝腹(水むし)項癬(いんきん)

その作用は決して一過性の解析作用ではなくて、持続

る作用がある、水塊には麻酔薬や紅腸を刺薬するやらな物は、影響に含んでるないから、無害、無刺動で、その作用はあって、淡さの麻酢作用ではなくて、排散のある。

現今使用せらる マ文献態星へ

ものが多く、何れもその組成上より鎮痛收飲の目的には相當効果が認められてゐる。 る之等の薬剤には單導酸「コカイン」、「イヒチオール」、「コデイン」等を主剤として製出せられた

の来 從 法療疾痔 就化

・ 特族外用薬の一般適應症 ・ とないがらく いっぱんてきごう (一)非觀血的治療を

き失息に動する保存的療法に奏効し、且つ注射療法、又は外科的手術後療法に應用して十分な効果の如きは切開、焼灼法其他を必要とする事が多い。故に現在の外科的手術のみが完全なる根論持護の如きは切開、焼灼法其他を必要とする事が多い。故に現在の外科的手術のみが完全なる根論持護の如きは切開、焼灼法其他を必要とする事が多い。故に現在の外科的手術のみが完全なる根論持護の如きは切開、焼灼法其他を必要とする事が多い。故に現在の外科的手術のみが完全なる根論持護の如きは切開、焼灼法其他を必要とする事が多い。故に現在の外科的手術のみが完全なる根論持護の如きは切開、焼灼法其他を必要とする事が多い。故に現在の外科的手術のみが完全なる根論はない。 さは局所静脈の鬱血を去り、その部の炎症を除さ又は抱水クロラール、養鉛剤等 から、近時特殊の操作によって所選をと、組織の新生作用によって連かに治癒の効は、近時特殊の操作によって連かに治癒の効は、動作用絶数なく一般等を発して変造したもので、一般を奏し、多くは観血的手術を必要とせずして快適が作用絶数なく一般等を必要としずして快適があると、変効駆響であって一般を必要とせずして快適があると、変効駆響であって一般を必要としずして快適があると、変効駆響であります。 強痛、変孔等に著効の認められた事から、近時特殊の操作によって卵黄膏、 動成分を抽出して製造したもので、一般 がある。近時特殊の操作によって卵黄膏、 一般 一般 一般 一般 治効果に就て

保

契約高の多少に不拘御電話かり次第係員参上御相談申上ます 火災、海上、運送、自動車 三井物產縣大連支店 險

店前者太澤蘇 二旬各遺版大

機製作所

動一等州目桐花大穀章を賜はり廿五日午後御は格で御入除勤務中にあらぜられるが廿

で、際に把酸型からなったりしずとして、 定規に鑑み各回の共同中体策を載すべく在上部の日英米。 【上降二十八日登電道】長江流場各地の共師軍の外国軍

の職低するを得るな物質がある

に関かれるものは飲さる遊りちれついありな食様は

職さ厳客貨物連絡打合せのためず 【ハルピン特電二十九日發】 東銀

七十九百七千八月

(日曜木)

H

馮下野するも

を識じ粉楽の問題についてないって

軍隊の處置至難 政治的解決に腐心 司・管轄では ・ では、 ・ では、

学能覚感激して選出・ の 御席食を勝けり終っ 戦したさいはれるが哈府議定書の 有効を試験しそのため食験は依と書いているないのでの食験は依と書いているが、 イノフ氏の電報さ一九二九年上

英議會は

ふ開會

皇帝親

、臨御、御演説

正式 画像にてメリー 最后陛下で共 リス 最常 ジョージ五 世陛下には今 リス 最常 ジョージ五 世陛下には今

一昨秋の御大島以來初めての際院に上院論事堂に行幸遊げされた。

職者の散場が、 動者の散場が、 ないで第四條の計系概鑑及前額、 ないでは、 生物書のモスクワかち鑑して製氏して本倉師に臨むため其徳駅氏を ・ は、全権に するこさに反對 ・ であるためでありさいはれ鳥澤 ・ であるためでありさいはれ鳥澤 那個では酷つてゐる、從つて

式行幸である五世陛下には上院玉 がその演説中に今語會の躊躇の一 さして選撃出覧正が明示された がその演説中に今語會の躊躇の一

さの字句を調金で可決せんごするとて失敗せるは濃糖に堪へす

英國政界の危

にある

英自治領の

關東廳大異動の

自由貿易

英政府は反對

顔ぶれ

に觀測

0

L

形勢は政府側

側に不利

特及び解決な公約した。

戦能費は質にこの撃な

ルド能様は左の姫く答願しイギリーの異核での他に伴ひ目下事務管四 名(雅事縣長)と都合高等策定戦ドウイン氏の能問に答へマクドナ 関東殿では今殿景表の三民政支器 名、郷事館一名(滌務線)際映一の下院において保守職々皆ボール 関東殿では今殿景表の三民政支器 名、郷事館一名(滌務線)際映一下の下院において保守職々皆ボール

太田長官歸任後實現

的組織解決から

『ハルピン特職甘九日韓』路文合 で、通際職は前院政府が莫全権に代っ で、通際職は前院政府が莫全権に代っ とに因るもので、通際職職のため で、通際職職のため で、通際職職のため で、通際職職のため で、通際職職のため で、通際職職のため 南京で交渉希望 莫德惠全權に代つて

長江共匪の暴虐に

せたさいはれてゐる

自衞的武裝

東鐵西部線不安

列國が共同自衞第

近く司令官會議

して環就能決職家を可決でもなり、一個のであり、大学のであり、大学のではあいて、一百年のであり、大学者の数は労働席内ではないで、一百年のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、一個のでは、

財政難を説明し 極力諒解を求む

『東京二十九日養電通』 ※東珠第 れが熊決策につき要認しつゝある は横紫原がな反繁からた養美する ロ、州上、安保三様間に打合せた は横紫原がな反繁からた養美する ロ、州上、安保三様間に打合せた 上蔵様の認識あり矢吹吹前が首様 に表るべしさ信じてある、これが なが即とが変けいき認識を動われた。の現場を具に説明厳解を得しむる でカンドンを対か機能に変数した。 十八日の解離試金後側口管様、利の現場を具に説明厳解を得しむる である、これが なりまする。 に表るべしさ信じてある。これが なりまする。 に表るべしさ信じてある。これが なりまする。 である。 との形は一部様は配く近木級様、米。 の現場を具に説明厳解を得しむる である。 との形はには、大殿が解決をなすたりで、 の現場を具に説明厳解を得しむる である。 との形は、大殿が解した。 でした、これが なり、一般に説明厳解を得しむる でした。 でした。 では、一般に説明厳解を得しなる。 との形は、一般に説明厳解を得しなる。 との形は、一般に説明を書して、 のの関係といる。 のののでは、 ののでは、 ののでい。 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、

の の 美誠は一般に動物で、 同窓へ呼の新住が至は神事官の低地で、 同窓へ呼のがで、 同窓へ呼ばれた。 日窓へ呼ばれた。 日窓へ呼ばれた。 日窓へ呼ばれた。 日窓へ呼ばれた。 日窓へ呼ばれた。 日窓へ呼ばれた。 日窓へ呼ばれた。 日窓へ呼ばれた。

合自

政府、海軍首腦部に

南京政 當分放 するに決定 階 兩軍を よ 日九十二月十

蔣張會見の用務 當面の重要諸問題協議

るさの既もある。 比較には脚្跳りではこれを影響して健比二者よりではこれを影響せしめんさしてぬけ、一者よりではないのでは、一者はいいのでは、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、一句では、

海軍大演習 御慰勞賜餐

莫全權や召還

善後策協議か

慢頓した露支交渉

を一大 で脱墨段氏は跳かに 5 の著後問題を政治館に解決する 質性を持つてぬるのは 氏の希望もあるがなほ未定である ったのは事實だがその軍隊の大部で、 除連伸氏の中央に帰返 分は ら退き古集に聞つたが。

西北軍は

食物は時々

い。 一型の圧燥解、臓持、郷費氏ら如は で、更に懸弦 に、要にかで明たが暫く山西を で、更に懸弦 に、要にかで明たが暫く山西を

野ふべし」さか説す | 會議の人々は「然論

野ふべし」と力能する向が多く者の処人政策、政見に腕へて削引さ 政府又千

海軍進級會議

大異跡を日軍会師を各軍 大臣室に勝合 日子後二時から海軍衛門の大きにあった。安保衛村の他多数の総合出しているべき海軍で、安保衛村の他多数の総合出した。安保衛村のである。

一日行はるべき海軍定期で降下に理場正午東郷元 うき

市衛生係新施設

豫算一萬七千圓計上

見たいさいふのであり、
「際心で臭れトば助ឈ能に使用して なるがこれを妊化料でもて験

ないかっちきにならい。 「「ないかっかきにならい。 「ないかっぱり状態されるで ないかっかきにならい。要路に ないかっかきにならい。要路に 階級の會具、 天下寨不也。 天津か常島

かきにならう

整備中央山脈の繋社に暴動が起 築 岡州市



我我) 0

娛滿樂で

設備あり

の温泉場



おる。まださい に若いが走るこさは自 **政道敷設を計畫** 石家莊間 0

全英帝國議會の結果左の二項が「宗宇」と、一定の「中国党」とは、「中国党」と、「中国党」と、「中国党」と、「中国党」と、「中国党」と、「中国党」と、「中国党」と、「中国党」と、「中国党」という。

國議會の結果左の二項が

滿洲醫大城野

氏に博士號

熱河省政府當局が 一、英帝國間の自由貿易主義は絶 野に数目なる事 一、自治領諸國側に更に廣範國の 特惠待遇を奥ふべきは食糧品に 野する質税のみなる事 野に数目なる事

失業公債の

型 (東京廿九日景電通) 三千萬個乃 ・ 地・際へられてゐるが 州上 職様 ・ 地・際へられてゐるが 州上 職様 ・ 地・際へられてゐるが 州上 職様 發行否定

「マクレイン酸に関する研究」で「マクレイン酸に関する研究」で、 一大は大正六年島取中學卒、十一年南浦響學堂を卒業、奉天醫院 科に留學、昭和三年二月歸任も 野大醫院内科醫員で各業、奉天醫院 一本年十月京大醫學部内 でもいて令日に 一本年代 一本年代

では、本職は務職より同縣へ轉せら では、その一であらう、配して本職が務職より同縣へ轉せら が決定解さされた後に地方職が成化である。 では、その職務が新銀及び職信候の では、その職務が新銀及び職信候の では、その職務が新銀及び職信候の では、その職務が新銀及び職信候の では、その職務が新銀及び職信候の では、その職務が新銀及び職信候の では、その職務が新銀及び職信候の では、その職務が新銀及び職信候の である。 中(徳)屋が有力観されてあるが野旅殿の郷が有力観されてあるが

保護膚の 赤テヤン向きの 石鹸 てする肌を保険して目にしまね



低人式であるさ。 る支那の時局か、この他人は何 んで見てゐるこさであらう

1800CC(-#)\$5.00

走

積燈

生

いふっそれが

か合でも出きて居るさ

管の揺標による宴會が開かれた。 大連在住の中國郷大監職駅で、大連在住の中國郷大

が跳「低跳記」について話がは その艦上、今本紙に連載の支那

わからか、ほん

仙人は現在する

町へ自ら道具質ひにいつたのだ

山の奥で、

やはりその機械を流れてゐるのやはりその機械を流れてゐるのはりその機械を流れてゐるの。
をはいふが、道教の健人條思想を中心さした文響師の漢の支那は十人はよ

てるないのである。
れておないのである。
れておばした就老會の八十、
れてかなはこれらの雌人から
れてまだ!~子供で、群穴様
氏も、顕學は氏も、 栽仏も、 繋 ふ思想に支那では不思議さされ

いふ。そしてその個人 一見五十歳位に見え の山奥にも水で標の質だけで生まて居る、底の数つかりからないのが居るさいひ出す。 したでである。底の数つかりからないのが居るさいひ出す。

られて電数をして一度の光彩をいる。 をの野嫌に、佛教思想が支那に であるとはいる。今日支那に第三 である。

٥

版に続いするものである。 はいくら悪つても、依然同じ所 を纏る。女明の立際化はその民 のである。

たして

聴りがなければ

駆じて

公僚 海かがになって、他にて田中 地が課長の後任さ目下療護を決して田中 地が課長の後任さ目下療護を決して田中

が 大の支票系統による最近の民政署が 大の支票系統による最近の民政署 おりに 他の一名は日下同職内におりて、他の一名は日下同職内における能。人の報告なる有資統者に 理事質級でや、操縦し得べきもの人が着低するか見高つかで、値に が駆い等の關係で自然大部分は内が駆い等の關係で自然大部分は内 馬評に、上つてゐる人々

明に重戦したに過ぎないものさ 道程を接げてゐるに過ぎないのなく、たく支那の民族革命へのなく、たく支那の民族革命への ンター思想にして見ても、これ数年前來の繁慶ロシャの第三イ

支那趣味タップリ

線を入れたものでが何にも安都で 観定権はこの紅地の箇所に黄色の波型



聖諭煥發記念日に 關東廳が表彰する

李子 奉天の平 櫛 義 政君(三) 順孫一營口の松浦きよの嬢(五 全滿で選ばれ

を受ける勢子は輕天淀町八番地平櫛義政君さいふ年富十五歳の可憐な少年、ひさりは燃日家政総館してこの付意義なる表験を信ふこさになつた、全番幾十萬の邦人中から選ばれ啼れの表験がより楽明せられた参敷の孝子賦禄中より特に孝聴奇特と認められる左記二名の孝子、願豨を制念目に際し、全番の孝子職孫を表験すべし漁慰來州内州にわたつて調査中であったが、谷地制念目に際し、全番の孝子職孫を表験すべし漁慰來州内州にわたつて調査中であったが、谷地制金別に勝る。 救はれた養家のため

實家へ歸宅の勸めも斥けて孝養 健氣な平櫛義政君 がなく繁父は本年八月途に死去して職なく繁父は本年八月途に死去した。 かいし 一家のため駆してゐた、しかいし一家のため駆してゐた、しかいとして職なく、

た引受け夜の十二時な過ぎて膨る を引受け夜の十二時な過ぎて膨る を引受け夜の十二時な過ぎて膨る では磐栗代家能の に楽蜜の腱りを盛じてぬた、しか し十八回の月吹では磐栗代家能の 第さ三人暮もの一家か背負って立 たので、餐母に本年十三になる養 がなく餐父は本年十三になる養



表彰される 平 櫛 政

貞操代二萬圓

値切られては應じられぬ

排々爺さんを一ばい喰はせた

妖妃と恐いおぢさんの問答

官「お前は勝塚に電報一本で質」 「お前は勝塚に電報一本で質素が5五千個でも一点個で送金素か5五千個で一点個で送金素が5二千個や一点個位の金は送 保室の装成號さに

1八日餐電通』 階級局登表 三方面から

室を願い相談内地人な器割しれて 別職を助し先う會場を競し大で分

軍隊の警備で 埔里の人 霧社回復に警察隊活動 八心安定

延の理由

父親常五郎は世九日小蔵子塾へ書 たかが明したさいふので てかるこさが実明したさいふので であるこさが実明したさいふので であることが実明したさいふので 濟通丸入港遲

の起工式

総政君の戦争から帰宅するやう獣 ため血の高む勢力をつなけてある ため血の高む勢力をつなけてある 警視廳に泣きを 早大當局が 入れ

院を揺く惧れがあるので今回は取りた事の順潔問歌に就いては他の裏

三、素婦関係三、素婦関係

能高駐在所

文部省より

警告か

【臺北廿八日發電通】能高駐在所

致經過聽取 杉原主事を招

を以て選れた津藤郷童の報告で現 の原業に購ばれ三名の所見は必死 たこさ大勝郎に貫通銭網を買い身 たこさ大勝郎に貫通銭網を買い身 たこさ大勝郎に貫通銭網を買い身

切り崩しに 學生側依 然頑張る 狂奔す

機能において全回の騒響は左數學 官蔵の學内使入反點、簡弱の戦略を開いた結果で潜理事は丸山響就 る事さなつた、その他物性者處分散局は學生贈の結束が樂想外に強 につき意見交換の結果、職合委員 監局は學生贈の結束が樂想外に強 につき意見交換の結果、職合委員 監局は學生贈の結束が樂想外に強 につき意見交換の結果、職合委員 生職は午後一時から家庭ホールに め統領部等切り脱しに扭弾してゐるが、學 會議を問

さ健氣なその決心に誰一人涙を能

包み切れぬ

養母の喜び

又義政君の勤務先なる摩天俱樂部 変し今日迄の經過を臨現する處が 時界大杉原學生記事を交部者に招 等の經過を臨現する處が がし今日迄の經過を臨現する處が

藪の中から發見

小笠原郡守の死體

亡き母に代り

家庭の切り盛り 營口家政女學校の模範生徒 孝女 松浦きよのさん

をく子弟教育の生きたる資料さ 女で、六つになる妹へは優しい母をく子弟教育の生きたる資料さ 女で、六つになる妹へは優しい母をとう子弟教育の生きたる資料さ 女で、六つになる妹へは優しい母能がおければ一人感心せないものはない 交親に警察を凝してゐる、家庭に所の宴氏は認る り 然日から表験される標識さよのへ 校さ高等小 を表して難関集配人を願めてある五十近 れてある際 で大戦関集配人を願めてある五十近 れてある際 で大戦関集配人を願めてある五十近 れてある際 に、近職 で大戦に挙襲を盡してある五十近 れてある際 に、近職 で大戦に挙襲を悪してある五十近 れてある際 の一個の大学に通ってある二人の一個の大学には良き妹さして安食性の世話を解くれさなくまめに近隣の人業から賞めそやさ

行動せる警察隊

の評判

勤め先や近所

暴動眞因

公學校運動會を襲撃

の原因にまだ職覧な戦権不明なる数権務省着電=磐社方配署人職機 今なほ不明

更に警察分室を襲ひ武器を掠奪

生蕃暴動事件の詳報

一、同方面著人の最近人夫の微軟 総懸倉 短線なるため苦痛を吹くたるこ さの開込みありたり 一、ボーコー社出身花岡一郎(番 が 伝連 人で公學校卒業、目下繋社駐在 証(髪 所に乙種巡査率職中)が同期生 に比し常に不平を洩らもたるこ たれ、ボーコー社出身花岡一郎(番 が 伝連 たれ、ボーコー社出身花岡一郎(番 が 伝連 來連する於非外務政務次官の飲迎 大連早稲田大學校友會では明冊日 早大校友會主催

由(参加申込は大黒町常谷電三三 ・ が在連校友は奮って出席されたき ・ かん地校友は奮って出席されたき 九九番へ、會費三風當日持髪の、

今回の職機區嶼内にある戸口は百

內地人 本縣人の別なく

本島人百十戸、內地人二百七十一本島人百十戸、內地人二百七十一

十數年も行方知れずの 息子の伝

十数年前支那より一回通信があっ 常五郎(**)長期好男(***)は今より 常五郎(**)長期好男(****)は今より での。 漸く判つて老父から説諭願 離職の上入港したものであるさ を整理の上入港したものであるさ を変に、企業を表したものであるさ

返東ロシャレストラン大品通通速時角

の眞質を御認め願ひます

完は解決財操師の一個中歐と歩兵職 運動管を見に行った小笠限前高郡 に解がした。なほ で、1十八日埔里が酸に破った。なほ で、1十八日埔里が酸に破った。なほ で、1十八日埔里が酸に破った。なほ で、1十八日埔里が酸に破った。なほ で、1十八日埔里が酸に破った。なほ 生蕃の暴動 真に遺憾 松田拓相の話

スの甘栗

甘栗太郎

永井次官歡迎

拾壹月一日新學典 限り入學を許可致します 收入の最も多く最も早

めに速に自動車學校へ、但し定員を 勝するた

大連自動

の祝の名 △値段はお尋ね下さるな! △安心して食べら 日が 定評も

紅 三十日より 婦人の生命とも云ふべき 八多數入荷致しました 即賣 金屬頭 スタイル 電話三一七一呼出二三八番 飾裝 は

技術を有する

島易斷支鮮本部 大連唯一の最高な 純良無比の人参ヱキス 小供服専門店の

強補 地 17.1 ((() (X) H

隨意科質習部、學科部各三名限り 速成科 書間部自午前九時至年後三時十名限り

山城町(大連驛前)

は三輪響が部長以下さ楽中州より がちの腰緩鬱緩験及薬中財屯のと 一大名はか宮職支際を増里に向び、一 十名はか宮職支際を増里に向び、一 十名はか宮職支になり、重に百餘名 十餘名光養除こなり、更に百餘名 を襲つたもので職てからの問題ら を撃が敷を擦続して塩振び見に層深 を撃が敷を擦続して塩振び見に層深

三十六名であるが、トロッカ、タ り)でその他は生死不明、(大陸部に貢献) を含せて名のほか膝丁百十名(内地 心蕃 には十二社あり

族にて五首七戸、二千百

既に死亡せるものさ思って居ったたのみでその後者さして音信なく

宮尾東拓總裁 三十日夜大連着

ハルビンに

『ハルピン特體廿八日韓』廿八 存に入つても歌ます、新選等下 をに入つても歌ます、新選等下

新造曳船二隻

一八日午後二時八分發=陸一八日午後二時八分發=陸

アーでちることこまできの歌りは、つてか、るといるがお、以下傷能・チップも五千間のチップも「チッ ここはしてゐません」と解能に飲好印象にして見れば――一間の く「紀は僧置場へ入るやうな歌い教師のよれに称へらし 取 判別 べ を 受けてぬた ふー濃の懸しいりまた著へらし

二车四五六七八九 滿日勝繼基戰

(101)

共 七 秋元豐二四氏 性の意氣を記すさ力んである ださのこと▲質能は非上技師の復 で内部の経束やかためて愈々更 のでは、ないないないないない。

女品語

1

世三日封切 世二時半開

靴穿く

命

黑革命級上 赤革命短 九四00

人は是非一度 御氣に召したら 梅本の革

一度御試

ちいめ 堂食焼きす

本吉哈齊青天武長公四開題新安奉奉奉奉 主平 發東

行行法群分行到的基行法法法法法行行

店理代總國中

+

十寸室 寸室 用四五十 用 圓^五 五四 五四

盘

遼寧省商工總會から南京で開かれる全國工商會議に

五さ止めた、然ろに地場相場は標 は一般場の特別である、全朝の標金より地場相場を見るさ五十八圓、又 上部日本向け為替の百二十八圓、又 一个朝の標金さ上面日本向け

と飼料

松

農學博士

た場合の組制料供給の大概みの見萬頭を増せるもの)に増減せられ

に書類のみを以て通關されるさこと書類が往々不備のさころから、単

断に提出し内地各輪のでその質

銀の相場に

あるのである

この邊が底か

注目に値ひする

最近の倫銀相場

以前なでは地場根島は上の大きれ船で上部日本向け監禁金で地場が悪され上部の為異され船で上部根金で地場が悪さの極肥きは振いたない。又上部日本向け監禁金には漸ばす響は、又上部日本向け監禁金には漸ばす響は、又上部日本向け監禁金さ上部日本向け監禁金さ上部日本向け監禁を解かせたない。

株(保合)

大連市淡路町十

(封入申込あれ) 電話 九六五五番 大連治療 院

大自然の光線を浄化して 大自然の光線を浄化して 大自然の光線を浄化して

クレープペーパーソラワーリリーアートリース 刺 織 講習マスクシ

ベヒーシュークリーム 秋のピタニックは まのは 4 八三五一八

國貨の調査を提唱 業保護策 2

ありて倫銀高にも派はれず高級配

不備實例

日本商議へ提出

最近の三市場

獨自の歩み

倫敦、上海、大連の闘聯を失ひ

變態的相場を示現

職自の歩みを示し過日の低端の節 根場は上部及び大連さは無關係で 根場は上部及び大連さは無關係で

例を見ない寒寒的根湯を示現して してぬるさ云はなければならない 極ざ前 では深い考へがある好くによ見らればなぶしてぬた、何か倫徽市場 破死して見るこ大連、上版、ロンれる状態である、かいるここから ドン三市場は個々別々な場みを示

沙票强調

中時 天10 11000 110140 十一時 天10 11000 110140 十二時 天10 11000 110140 十二時 天10 11000 110140 十二時 天10 11000 110140 十二時 天10 11000 110140

况(计九日)

麻袋績落し

奥地市況(附九里)

大連市若狭町観測 田倉

朝光本坂 番五四町農信市連大 番 〇 二 〇 七 話 電 番 一 三 二 運 大 替 規

一般、三〇年には六百弗に値

世界經濟の混亂

又今回の強無歌師ち五十六間歌に て全然地場の仕手地場の人類によ れでが料を無視し

支配さ

生

から、目標さらた所のそれら参稿 ・ 大窓の験質力を数率の終端は事態 ・ 大窓の験質力を数率の終端は事態 ・ に對し、一般中態後繋載は千百五 ・ に對し、脱離後繋載は千百五年 ・ に對し、脱離後繋載は千百五年 ・ に對し、脱離後繋載は千百五年 ・ に對し、脱離後繋載は千百五年 ・ に對し、脱離後繋載は千百五年 ・ に對し、脱離後繋載は千百五年 ・ に對し、し、し、 ・ に對し、し、 ・ に對し、 ・ に對した。 ・ とも ・ に対し、 ・ とも ・ に対した。 ・ とも ・ に対した。 ・ とも ・ に対した。 ・ とも ・ に対した。 ・ とも ・ とも ・ に対した。 ・ に対した。 ・ とも ・ に対した。 ・ にがし、 ・ にがし、

他監察な家具類が入り込み、それ

が相當細民階級にまで及んだ。

も一服で保合、他の各品 を制定を担めて大引 を制度を担めて大引 を制度を担めて大引 を制度を担めて大引 を制度を担めて大引 をののではのをののではの をののではのをののではの をののではのをののではの をののではのをののではの をののではのをのではの をののではのをののではの をののではのをのではの をののではのをのではのを を付いる値を値を値を値を を付いる値を値を 大引 を付いる値を値を 大引 を付いる値を 大引 を付いる値を 大引 を付いる値を を付いる値を 大引 を付いるが をした。 大引 をした。 大引 とした。 とした。

たれは何の強か?。音ふ弦しな ・ 自は此の如く変れなくなったからで ・ 自は此の如く変れなくなったからで ・ こでする。それは他の鍵子は、呼放 ・ では、今日の不思の動様を眺めする 一 長者が十邦の戦を一萬足野くこさ は出本難い。されざその十邦を支 は出本難い。されざその十邦を支

近年の

ではなる。昨年上野主なる自動車 でなる。昨年上野主なる自動車 ではなる。昨年上野主なる自動車 ではなる。昨年上野主なる自動車 ではなる。昨年上野主なる自動車

當市不變

度使へばきつと御氣に召す

プリキ店

一番よく効くものは (治療毎日) 一番よく効くものは (治療毎日) 台橋 器 販賣 (家庭器もあり) 〇治療 器 販賣 (家庭器もあり) 〇海院開設自由 希望者順會あれ



聽與風倉本長治著店員 伊藤重治郎著商店の管理で經營 室田人良三著店舗の設計で装件 日 カフエ・バー・喫茶店廣告圖案集日 吳服モスリン店の廣告圖案集 正己著販賣術ごサー 六·四三三九 十九番地 文房具運 和洋菓子・茶舗の優告 洋服子供服店の廣告圖案 薬品化粧品小間物店の青生量業集 酒醬油味噌食料品店の廣告圖案集 **饒 無**》 廣 廣告印刷物の知識 告 の訓練 具玩具店の廣告圖案 商 案文案集 と廣告 三待遇

奉答書を枕

補充計畫案を死守

査定案は正に最悪

記載或に一般繁第大競者音定案に就き協議した後更に谷口軍令部長さ會見最後的態度を決定して 閣論『東京二十八日獨電海』安保海根は二十八日午前八時代小梯次官、加藤經典局長、城軍務局長さ補充

海相ご會見後

谷口部長語る

表鐵國策樹立

民間合同會社設立案を

産業を視察して

貿易促進に資す

プラチャトラ殿下の御談話

改正せずと決定

正副議長等協議の上

然為氏さら極端行應の會見さなり、栄子或氏が覆東に起き南洋範備さの連称交換さなつた器である時、入することを決定も目下丘原で酸糠進行中であると、かくて全國統一の問題幾しこれが費用は解する軍隊に更に九ケ師既の直轄軍を増加縄成を得ひ、これにアメリカより新式飛行機十臺を中央の權力を强めるためその土臺たるべき兵力の増加計畫を邀り現在有中央の權力を強めるためその土臺たるべき兵力の増加計畫を邀り現在有限上海特體甘九日發。南京政府は反蔣派の討伐を終へて褫く政府の基礎が膨まりかけたのでこの際

中央政府の委員に

就任を奉天派拒絕

學良氏が蔣介石氏に

きのふ産業審議會總會に附議

根より楽劇の黙黙表派につき報告 提根、松田掠根、小泉遮根、安楽 (東京廿八日養電通) 廿八日の定

南京政府

直轄軍增

加を計畫

飛行機十臺購入

右の中民警主義を執ること、した に關係者の異態か見る既態にあつ に關係者の異態か見る既態にあつ に関係者の異態か見る既態にあつ なるこさ い、年級関税引上を行び印度紡織 い、年級関税引上を行び印度紡織 で、年級関税引上を行び印度紡織 の輸入を防止・同事業を促進す のにさ

財界懇談會
廿八日第二回
廿八日第二回 せる智族院職民在非常一郎氏に野 叙動一等授聯資軍 石井省一郎

に年来開策

購讀料值

社

告

陸軍整理を始め 四政策を決定す 民政黨の總務會で 昭和五年十月二十七日 田和五年十月二十七日 田和五年十月二十七日 一 ケ月 金一 圓 二一 十 錢 一 一 ケ月 金一 圓 二一 十 錢 一 一 大 圓 二一 十 錢

◆牧護法質施 軍縮刺除金中より て政府に進言するに決定した とに當てるは困難であるから政 て政府に進言するに決定した 緩急に願じ 府は他に適常な財源を求め來年度豫算に是非頭だけでも出して 質施され度い 今の質行に任じて質ひ度い で質現して質ひ度い て質い度い は財源に除答われて質い度い いかには変を練ってそ

北滿要人異動

及ばするのなり依て数に書面を改写の経惑を解かんさする何を可なり依て数に書面を

定例閣議

□ 東京二十八日登電通』民政黨は
二十八日午後總務會を開き監証の
おけ來年度から實現して費が
を申整理問題 案を急いで『來
をい、萬巳むを得ぬ時は明後年度い、萬巳むを得ぬ時は明後年度がら實現して費が

其他報告 蕃人暴動事件

で 『ハルビン特電十九日曜』 特別區 することになり後低には来発線前することになり後低には来発線前で北平の軍要企置に業権を できることになり後低には来発線前の場合しまいと

人民の信仰上に軍大なる關係をしたの建設資金も相常準備し居れる今日、斯かる風波を聞くばれる今日、斯かる風波を聞くばれる今日、斯かる風波を聞くばれる今日、斯かる風波を開くばいる。

英國保守黨動搖 ボ黨首に辭職を要求

米國農務省

日本綿業視察

『ロンドン二十九日養電通』保守。の全盛を認つてゐる 『ロンドン二十九日養電通』保守。の全盛を認つてゐる 『ロンドン二十九日養電通』保守。の全盛を認つてゐる 『ロンドン二十九日養電通』保守。の全盛を認つてゐる 『ロンドン二十九日養電通』保守。 「日本日の倉職にてボールドウイン氏の静 「日本日の倉職にてボールドウイン」 「日本の総要を研究せらめ 「日本の総要を確究せらめ 「日本の総要を確究せらめ 「日本の総要を確究せらめ 「日本の総要を確究せらめ 「日本の総要を確究せらめ 「日本のには日下総 では、「一大センセイションを指き起し 「日本の総要を確究せらめ 「日本のには日下総 では、「「日本に向け砂察底分 では、「「日本に向け砂察底分 では、「「日本に向け砂察底分 では、「「日本に向け砂察底分 では、「「日本に向け砂。」 「日本に向け砂。」 「日本に向ける 「日本の 「日本に向ける 「日本の 大り力整修者はグレッド・ティラと メリカ整修者はグレッド・ティラと メリカ整修者はグレッド・ティラと メリカ整修者はグレッド・ティラ ト氏を經濟局の機花按師に使命と 中に日本に向け視察を祝さいまままに関 中に日本に向け視察旅行に出数する 巻である **益々増加** 長江筋の匪害

場統制に信頼

フアシスト

記念祭

莫全權に

| 回収の激励電を全國民衆一致の名

遼寧外交協會が

の部長次長敷名を持縮しその就任 なる担郷を表示して來た 受適事業は地方産業の開致上領 に上海特體サ八日孁 解が孫氏は なる担郷を表示して來た 受適事業は地方産業の開致上領を避むる炒め堅天鵬より政府各部 北内部の問題を考慮した結果総職 會をしたさ 交通事業は地方産業の開致上領 地で東北突通委員會院左の如き 勝に上海特體サ八日孁 解が孫氏は を張學良氏に来めたが廿八日の南 決定。吉林徹城學生職合會名義を

對獨借数に

吉林各團體反對

東北交通委員會

二十年後には 伊國のみ發展

フ黨羅馬侵入記念日に演説 歐洲の諸國は凋落

『北平特電廿九日發』シャム王族プラチャトラ殿下は記者に 大きのが目的で政治上の任務は有して必ない、當地でも要 大きがある曾近のなつかむい國である、十二月バンコックに 東洋の視察をなす豫定である、日本は十五年前も訪問した 事がある曾近のなつかむい國である、十二月バンコックに 東洋の視察をなす豫定である、日本は十五年前も訪問した 事がある曾近のなつかむい國である、十二月バンコックに 東洋の視察をなす豫定である、日本は十五年前も訪問した 東洋の視察をなす豫定である、日本は十五年前も訪問した

窓の二駆共戦に議事進行上の希望 一覧の意味を覧したる結果を報告し たの二駆につきになる結果を報告した。

石井省一郎氏叙勲

までは、 ・ は、 、 は、

後民跡運動を避すことに、知名士及學生會代表は、知名士及學生會代表は、知名士及學生會代表は

どう改善すべきか

/連中央卸賣市場

時十月廿四日午後六時 所滿洲日報社會調室 田下浸太、三田芳之助。 田中岩次郎、笠原碑、田中岩次郎、位渡茶三、長濱哲中教、石壕茶三、長濱哲中教、田淵紋次郎、一由由一郎、佐藤四郎、福川米太郎、田順序不同)

はければなられないか、市際がよいか、市際がよいか、市際がよいか、市際がよいか、市際がよいか、市際がよりません、元本市

關係各權威の座談會●

で廿七日数したさ 配属は本際協定に遠反し東級 利用して中國の政治侵害を企圖 利用して中國の政治侵害を企圖 中の臨時撤法たる哈府場定を観ら は改支協定にも反し國境に おいて赤化の宣傳をなら中國の 対のに中國側に承認か迫らんさ 対のに基さ無條件にて東 級な同東すべし【奉天電話】

多獅島築港

引生に無味平凡なる場面を辿りて大供感差したる人氣も引立たす各品

◇定期後場〈銀线〉

各品保合

調查委員會

中国の野力を失い唯一の若き被 我イタリーの敵に我國境にて着 我イタリーの敵に我國境にて着 では現在の歐洲諸國は背委稲して は現在の歐洲諸國は背委稲して すったあらう。今や世界のファシ おであらう。今や世界のファシ であらう。今や世界のファシ であるあらゆる事が反ファシスト宣傳のため利用されるであらう。過酸学がモラン及びフローシンスでならた宣言は「歐洲からその 個番 者の假 面を破り去した」さの意味である。今後イタ で 東洋のみである

莫全權召喚の 中止方を提議 學良氏が南京政府に

十九百七千八

おれば完全な幅手でなければな か市場際酸を提供で許可するこ さにするで許可の歌手が思り、

はりたいさ思ひまでの難勝や市 はりたいさ思ひまで はりたいさ思ひまで はりたいさ思ひまで

政署長からも、覆敷制ではいか

をからいてする。 からい。 をかったります。 一本では、その。 一本では、では、では、では、 をからりでしたが御売支へ をかくつもりでしたが御売支へ をかくつもりでしたが御売支へ をかくったります。 これたので皆さんの

市場さ建つて壁に消

は消刑輸入電場上の使物にあることを充分

・ 一曲 前にも甲上げましたやうに 一曲 前にも甲上げましたやうに

奉露の特殊關係を理由に

| 北平特電廿八日韓|| 常地への情 | 英微黒全棚の召還を中止せよさ|| 東微黒全棚の召還を中止せよさ 海軍の補充案は 最小限度のもの

総督寺定親に野産軍省の緊犯成り が都合上来た保護 髪乳してるな 大戦省の南定親に野する會議の大 会批労働では 意見 一致 してなり、戦事 歌する廿八日の海軍高騰會議では 意見 一致 してなり、戦事 省部結束して主張

能変のため行き語つてるる大連市 にすかかを市役所において機能性 にすかかを市役所において機能性 にするが跳廊送人組織にする。 にするが影廊送人組織にする。 組合制論有力

力行會の 改組方法

ニ三八五三四五後4日 七一六九三三〇 〇〇〇〇〇〇〇

大阪、東京さも後端引は前場引に大阪、東京さも後端、新東八十段高、新東八十段高、新東八十段高、錦新七十段高、新東八十段高、錦新七十段高、台、

當市强保合

株

神 **戶 特 產** 前州小麥 高洲小麥 三八〇 先物 三八〇 三九〇 一七八〇

況(井九七)

て簡分費用も要しますがこのため

綿糸強含み

○定期後場○單位時

が続けが戦戦にからであるから伸く送もこれを のものであるから伸く送もこれを 関執するについて省部紀束して強 が続け膨度を執るここになってるる が続け、変になってるる が続け、変になってるる。 が続け、変になってるる。 が続け、変になってるる。 が続け、変になってるる。

交渉することになった、しかしてを機べて安保を様から形上膨低に

田製協議か開き大総省査定案に断

をの断の窓では組合組織さすべき歌 目下の處では組合組織さすべき歌

教育の

回顧

の普及と實學の樂點とを眼目としたのであったが經濟上直に全國に えを戦現する事は心中能であった

教育の内容は依然さして質利出教育の内容は依然さして質利出

育に関する動語の機数があったの あり、翌二十三年十月、毘くも数 月皇室典範及び帝国版法の数布が 月皇室典範とび帝国版法の数布が

一部では、共の市でれ、共の市でれ、共の市でれ、共の

貴施されてゐるのであるのである。

施の傾向を生

不高まり内外の状勢も七八年戦後に於て國民

大連早苗高等小學校長

松

與

(日曜木)

かにされて来た。が してのることが してのる。 とているが している。 してい。 している。 してい。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 してい。 してい。 してい。 している。 している。 してい。 している。 してい。 してい。 している。 してい。 してい。 してい。 してい。 してい。 してい。 してい

我にい次第であります。 であります。 であります、この機能をの大運動が眠に解しても日本園民たる以上一人の際外が、関係に楽して荷く、 はは関連をのなることは、 であります。この機に際して荷くしていたりません。 他に参加しなりません。 他に参加しなが、 他にありますが、 他にありまりが、 他にありますが、 他にありまりが、 他にありますが、 他にありまりが、 他にありますが、 他にありますが、 他にありまりが、 他にありまりが、 他にありまりまりが、 他にありまりが、 他にありまりが、 他にありまりが、 他にありまりが、 他にありまりが、

心身を寒か

・社会を対した。 ・社会を活成の理解に ・社会を活成の理解に ・社会を活成の理解に ・財子をして、 ・大きになった。 ・大きになる。 ・たなる。 ・たななる。 ・たななる。 ・たななる。 ・たななる。 ・たななる。

ものがある。

いける 寛政 異學

學派、探衷學派、古學派、古英語の正學さしてゐる程朱尊の外に王陽明學派、古學派、古英語、古文語時學所、古文語

SHALL

(常が人心の総一を現て即以野歌と 一を選いて他を振し、 學来高凱の懐 を選いて他を振し、 學来高凱の懐

なし之を敬信したものであって、信が人心の統一を見て寛政要義に続い、限ってるたので、名様機平原

英譯の教育勅語

大連第二中學校四年 安達武夫謹書

wish to lay it to heart in all reverence, in common with you. Our subjects, that we may all thus attain

to the same virtue

を解せず其激減するこころの悠遠 なるを自慢せずして徒らに新命を はるを自慢せずして徒らに新命を はんさする風潮の現はれるやう になったこさは寒に惚��に新命を遠 い次節であります

を要校教育に於けるさ同様家庭教育の 根本師大方針であります、然らば を要校教育に於けるさ同様家庭教育の

とたものではなからうさいふ見が松然島の三宮士が他県施を排斥採用松木島の三宮士が他県施を排床採

た實例であるさ認めらる、のではい難繁事であるかか降情に表示しい響響には如何に國民思想の統一の響響に表示し

とは除りに無知な事制者主の暴撃されて、書を焼き驚か坑にしたこれの 動皇が寒根や肌の趣能か可

大連第一中學校長

西內

四

されてゐるのであるが、

Know ye, Our Subjects:
Our Imperial Ancestors have founded Our Impire on a basis broad and everlasting and have deeply and firmly implanted virtus; Our subjects over united in loyalty and fitted! piety have from generation to generation illustrated this heavity thereof. This is the glory of the fundamental character of Par Empire, and herein also his the source of Our education. Ye, Par subjects, he filed to your parents; affectionate to your brothers and sisters; as husbands and wives be harmonious, as friends true; hear yourselves in modesty and moderation; extend your henevolence to all; pursue learning and cultivate arts, and thereby develop includental faculties and perfect moral powers; furthermore advance public good and promote common interests; always respect the Constitution and observe the laws; should smergency arise, offer yourselves couragiously to the state, and thur guard and maintain the prosperity of Par Imperial Throne coval with heaven and earth. So shall ye not only be Our good and faithful subjects, but under illustrious the heav her all forth is indeed the teaching bequarthed by Our Imperial Ancestors, to be observed alike by Their Descendants and the subjects, infallible for all ages and true in all places It is Our wish to lay it to heart in all reverence; in common with you, Our subjects, that we may all thus attain

The 30th day of the 10th month of the 23rd year of Migi

教育勅語煥發

想的に関ってい

じて根弧い生

る。一般に就て見る。

家庭的記念事業が一であり身連決 記述日か迎へるに最もかさはむき、

であります、而してこれが變ある形象の落ちに必既に希望する次節

四十周年記念日に際して

職へつて著へるに御歌戦の勢力 ・ ではなるさこれはまだ/ ではなるさこれはまだ/ ではなるさこれはまだ/ ではなるさこれはまだ/ ではなるさこればまだ/ ではなるさこればまだ/ ではなるさこればまだ/ ではなるさこればまだ/ ではなるさこればまだ/ ではなるがさいまであって施職 政・大学の関係に、この関係の大学、であります。 一般とでは、大学、であります。 では、では、では、大学、であります。 では、では、では、大学、であります。 では、では、では、大学、であります。 でか、この版について、では、大学、であります。 でか、この版に、では、教育者で、一生を買い でか、この版に、では、教育者で、一生を買い でか、この版に、では、教育者で、一生を買い でか、この版に、では、教育者で、一生を買い でか、この版に、であります。 を対して、というであります。 を対して、というであります。 を対して、というであります。 を対して、というであります。 を対して、というであります。 を関いて、であります。 を関いて、であります。 を関いて、であります。 を関いて、であります。 を関いて、であります。 を関いて、であります。 を関いて、であります。 を関いて、であります。 を関いて、であります。 を関いて、というであります。 を関いて、であります。 を関いて、というであります。 を関いて、というであります。 を関いて、というであります。 を関いて、この版に、別が、このと、というであります。 を関いて、というであります。 を関いて、というであります。 を関いて、というであります。 を関いて、というであります。 を関いて、この版に、別が、このと、のであります。 を関いて、この版に、別が、この。 でありまして、というであります。 を関いて、というであります。 を関いて、というであり、というであり、というであり、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、と

作業を職遇 に外域を崇望を御ごり の必要を御ごり に外域を崇望を御ごり

かって「別識の御場合して 知識を世界に求め

國民標識の尊重すべきごさか明記 の自髪を加へ、綴立國総ではで、

萬世不滅の聖典育勅語は 特つ僧値も意義も知らずして、そうので嫌い便様も意義も知らずして、そうので嫌い便様がここを理由さしてきなれた官もあつた。固より之は 田、融票の処き名色が居り、特に対し、一世、融票の処き出めり、君側に悪いたも、民間に悪いない。 民間に悪いない まり、君側に元 橋本八五郎 は立ました、極度の衰壊で揺や壁を積りに歩く荷擦、登敷も 頸敷しいましたが、ごうしても治らない、どう、死のならむしろ早くさまでおみ金も蹴分使ひました、戦地療養にも二年以上逗子や廃州に行って苦み金も蹴分使ひました、戦地療養にも二年以上逗子や廃州に行って

は、ました。同病者も多数回復したと感謝されて居る、今東京で同病者間に大きなセンセイションを建して店る、これを「馥糯」繁煌さ云ふ。

をは周章ですよく郷ついてこの海 は、大きな思想の流れを無視し、致て 一年にも思想の流れを無視し、致て 一年には、ない、ないであり、我師有別 版の内容が一般野富にさる、もの であり、かくして我園長の思想は 一であり、かくして我園長の思想は でものであると樂題すべきも ふて外國思想の傷語を助ぐこさは で一國文化の資達上決して存利でな いこさは今更申す法もない。

・ こて明治大帝の大御心に副ひ奉る こさな努めなければならないさ意

教育勅語煥發

現で民心を演化し関連の隆昌に費宜

りわけ此記念事業を有意識りわけ此記念事業を有意識での意味に遭つてゐる

四十周年記念

此に一記がが経済の概としたというとは「民の最も監念を要する國家とは「民の最も監念を要する國家とは、近來我國に放て思想國が経済の職能と一総に関してなり、之が繁聚を際することは「民の最も監念を要する國家と

税養上最も有効 際にして捷徑なるこ 奥史神話の教育

財産の際にも一層其間的石がなる が、多々あることを信じます でうかこの機にいる方法を著用して子が、 がの製造なる整管に努められる機、 がの製造なる整管に努められる機、 カミこか縮明に対か傾出せればなら を後の楽歴教育に於て大いに触話 のの教話に力を傾出せればなら がいる。 のであるのであ

た敬虔なる空氣の

性の数でありま

肺。 病を治せ・・・・臓域が人能を繋い時代に進んで 治

治らぬの鍵であ



白粉下と つぼみと 粉 下

白

云

にないかったといいのからおく をつかいよくはいれる。

【現代教育機能の一資料に供したいき思ふ 教育教語御下陽四十周年を記念する為に明治の教育を大観し 治 初 年

事さなつたのであった。四年、欧路県ではり砂めて文部省を置いるのである。

時報では、大変を以来、教育に大変を以下、単純になったものであるが、 本の観点とも書ふべく、其の観を佛では、 其の観を佛では、 其の観を佛では、 其の観を佛では、 其の観を佛では、 まの観を佛では、 まの観を佛では、 まのであるが、 まのでは、 まの 事態放低に四る競艇戦争の歌を観 としも影響を戦める事が出来す。 少しも影響を戦める事が出来す。

て現代教育曼達の新基礎を築いた 教(はこれに混滅するものであっ 別ではこれに混滅するものであった。今日の教育出現の

は国家の力量を認識し、国性の標 動を作業した。他のて再び職化に があれば、国際に職でで国家の報美 ので、他ので、他ので、他ので、関係の標 思想に共の暗一點が確立したのの をはて興つたのも監然である。 國民の自覺と 教育の効與 ある。起意臨國家起歌教育が衆然國民道士の第二點が確立したので数治に共の第二點が確立したのである。

教育の制度を機関に 棚に極さし

定めこの間な義務

する。 大では、 のの型での、 をでいる。 でいる。 は、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。

者交」の融射を採するが好き崇高の感に打たれるではないか「成其をかったさいるが、さもありさうなことで、君民一致の総合の力が、さもありさうなことで、君民一致の総合の力が、さらなりなった。 出し、 かんが、さらの聖心を描出し、 かんだらい かんが、さらの聖心を指出し、 かんだらい かんがい こんぱい かんだい おんがい さんありさう かんきである。

説明書は養生法だけ御人用の

版替東京五二八〇九番

心料 湖 園 白 粉

美しくなりますを養ひ、滑らかに 完全にふせぎます 美しくなりま

お化粧效果は かたしませり お化粧くづれば 自粉が極くお樂に 粧くづれが おりが

御定評通りの

云

ぬらなてく無に粧化物

教育勅語記念日

B

DI

回了

9

と大官屯の

一十数靴の料地屋が――と言っても 想び出た、無子単――様長を帳子に が、流鏡に飛行がれる前には樹柏

はさんさなくなる、地代は搬へのは、はさんさなくなる、地代は搬への町のやうになってしまった、 それが無腕の町を驟つた影破の大いであった影破の大いである。 それからの幾多の

人のたのもその頃のない

屋が出來て家の價格は下る。

得ための頭の縁分は時代が産んだ際勝氏酸の酸りを恣ましに帰じひ

「おらが町の場か」それを読るにさは言へ今頭喊はひ你ない事だ。

紅い唇、ほの暗いランプで

城切り不景氣に襲れた撫順 安奉線の建設着手によって

奉天各方面における

五 計日教育解語機養諸四十周年記念 に云つてゐた事あり又新原が所在 中 日常日響天における記念行事は左 不明さなる前夜支那人さ麻雀をな 中前十時奉天神社において官民 今同の記念式、同族是場式、執 を設める各種の能となての最大 を受けてあるのではないかさ事常 を設める各種の能とを行ひ一般 が行びれば後各學校に おいては教育動語養帝に因人だ。 を受けてゐるのではないかさ事常 で或は怨恨のある支那人から診察 を受けてゐるのではないかさ事常 一 が行列が響行される答で全市響 郷里に置いてあるさ が行びれる答で全市響 郷里に置いてあるさ

を引落つき掘って荒塞たる平山盛 くる頃であった の遺跡、それに拾られながらゆつ 年の脳が洲の空、風が盛に吹きままり替へた汽車は然論ロシア時代 軽にほり出されたのが明治三十九乗り替へた汽車は然論ロシア時代 軽にほり出されたのが明治三十九

なか出したのであったか、風呂橋 新興撫順はごうして関抗の一歩を 新興無順はごうして関抗の一歩を

なんと言っ

た自分にどうしてあからさまに語れている。その間の既能變動や個人的の

語九七〇六首

前の撫順のごく一端を語つたまでまれてゐる。むきだしの二十五年

うな狀態、町なみに空の撫順はまるつきり火

ラ天州で総戦子の帯ら高い室で、 い頭のことだ――のかげでアンベ

* の顕密の動きはあるのだが――。

話ではあるが、二十有五年前植民 つた撫順縣まで三四町騰れた所にからにあった風で艇るさりさめない 驚はつかない、驚時の新市部にあない場合であった。あいであった。 ん中逸に離るさ想ふが一で離な見な記憶さなつてゐる今日「あの時 の麓(さー今の古媛子露天獅のまれ記憶さなつてゐる今日「あの時 の麓(さー今の古媛子露天獅のま

岡田千吉氏談

一日だってじつさしては居られな

な な な が ら 住 み な が ら 仲 に 一 様 の 中 に

出され東洋一の欧天振、オイルセールで場等等今日のやうな塩酸に ならうさは夢にも魅ってはゐなかった。 だい昔の事を想つてゐるさ

れだけの質さがある、旗蛇さが含れたけの質さがあるまいか、事態その、追憶は機の出してはなっ

出され東洋一の露天棚、オイルセを振し七百五十萬暇の深端が掘りを振し七百五十萬暇の深端が掘り

・ 一年史でも讃んで覚びたい。だが二 一一一一ででいるかいはつほんさうに振順に生き の「つち」にならうさ覚悟しても

年史でも讃んで覧びたい。だが二温の撫殿の登底史なら消滅の二十

・ 大教報の料理をデーーと言っても ものではあったがごの家も根監察 を那町に網底したが、家はお組密製 を那町に網底したが、家はお組密製 だし

「一個談日の御目的は日 融融圏の総 とであるが軽天では北陸の張學以 でであるが軽天では北陸の張學以

無職のは、 は二番単にも割割であり次で第七 は二番単にも割割であり次で第七 は二番単にも割割であり次で第七 は二番単にも割割であり次で第七 は二番単にも割割であり次で第七

国四十錢 國四十錢 國四十錢

國境

大差、三着羽衣一馬身、配富九惠似二分二六秒五分二、二着綠

選問の傷を買うた この場合を この場合を この場合を この場合を この場合を この場合を この場合を にのまた。 では、 にのは、 では、 にのは、 では、 にのは、 に

戦場にも二十二個五十銭で言ふ好 は非常な暖はひを呈してゐる館盤 は非常な暖はひを呈してゐる館盤

□○种五分二、二者演速 □○种五分二、二者演速 □○神五分二、二者演速

十七日午前六時五十分頃新義州府 一大田子前六時五十分頃新義州府 一大田子前六時五十分頃新義州府 一大田子前六時五十分頃新義州府 一大田子前六時五十分頃新義州府 一大田子前六時五十分頃新義州府 一大田子前六時五十分頃新義州府

育兄ホーム主小谷留す! 料宿泊所を設置する計畫を樹て、 料宿泊所を設置する計畫を樹て、 達の三島忠疾氏も宿泊所を無料で 連供するこさになり近く建築に取

第二日目

人氣愈々沸騰

一分一〇秒五分二、二着有 原馬 (與部秋抽千八百米 有二十個、二着上個二十錢 時身、三着長隆一馬身、配 時身、三着長隆一馬身、配 時期、但樂部秋抽千八百米 一十錢 一十錢 一十錢

をたてるこのがて戸山學校主樂隊 たたてるこのがて戸山學校主樂隊

人妻を賣る

月賦提供

Manage of the second

の強重なる口調に依る軍権脱資政治の前後につぎ十時五十分後日首相

ふ表彰される

教育勅語記念日に

教育勅語記念日

ける沿線各地の催し

脈館内部の吹響と楯換つてが二十七日に一陸豚を塗げ

るさ延然區域最大なるな 夾節に燃え振がつてる

公主 横 公共総合方面に 公主 横 公共総合方面に 公主 横 公共総合方面に 大野行ける教育販語集養四十周年記念 大野行ける教育販語集養四十周年記念 大野行ける教育販語集養四十周年記念 大野大阪 (大学) 「一次で表現 (大

室本位的の離しさ戦り愛し克の學 を催しさする學校窓展の新悲で答 が深水の學盤含さも云ふべ 安東・今三十日数

火勢猛 るも無比郡北館作古代河の武双塚 及双口等塚なる園有様の大火災は 及双口等塚なる園有様の大火災は 死さなつて防火に努めて居れさ火 烈に延焼

國境防空の

安

戰鬪機演習

四機入亂れて活躍

二馬身、三着工勝大差、配當五 您二分一二秒五分二、二着超光 您二分一二秒五分二、二着超光

高氏はハルビンに直行それより滿 脚上、郷家市の更まで融解、郷天 に飛ばと野島平海地方を巡り便般 で聴京の業定であるさ

三着東信昌八馬身、二着星

本学三競馬 新呼牝馬千六百米一 着京橋二分二一秒、二着有時人 着京橋二分二一秒、二着有時人 著「橋二分二一秒、二着有時人 著「橋二分二一秒、二着有時人 著「橋二分二一秒、二十段

撫順でも

聴えた

軍縮祝賀放送

何々々完全に聽取

旦

名古屋市中區奥田町

藤彦

商

代表電話東七三九四番

京都帝大選學部を卒業せる選學士市內八縣町十番地鑑剛確定して大正七年 であるが昭和三年十二月中日合統であるが昭和三年十二月中日合統 **滙銀整理員** 行方不明

神密に引移って四

議所第三回定期總會に奉天から糜 東京に於て開催される日本商工會 ▲熊敏氏へ郷氏代表)二十七日天 総大の興味を以て迎へて居る東京に於て開催される日本商工會 ▲熊敏氏へ郷氏代河北省督樹)二十七 る信念教な途でどある学め市民は来る十一月廿五、六、七の三日間 日天津より来等 にかり楽に大銀橋の防備を加味せ

殿閣機の演習は當地で初めての事

二人の模範兒童

一着飛龍C。 一着飛龍C。 一着飛龍C。 一着飛龍C 高头、C.1分二七秋三)二者飛姫 一、高身)三着超光C三馬身)配宮 一、高身)三着超光C三馬身)配宮

その後防火の効なく

郷軍東陵見學

ける監修、後郎、標梁、道路、選 安東地方事務所に於ては終二週間 め発ご効なし夜間など物患き火性 五龍背の施設

所新義州商業學校議堂、建師総の所新義州商業學校議堂、建師の所有義州商業學校議堂、建師中の名所に於ける

齋藤氏の視察

將校の送別宴

いに味美

いなら変

元の

無殿郷軍第九班窓炭墨の百四十名 は十一月三日東陵見墨、静途濫黙 子に下車は地山麓で株の日にふさ はもい飛翔なやるさ 本 溪

元 實 發 式像 店 商 義 野 鹽 社會 店賣贩手 洲滿,社會式株產物本日

守備除來溪 湖

電話九七五三 大連樂鈴舍

一着 り (銀) に 中心 (現) を (現) と (れ) と (現) と (れ) と (れ

銀の放送が十一分間、同十一時十

代大使の濱口首様の放送の英放送が十分間属十一時二十五

された、次で十一時二分華府ホワジカゴリ・スー 送が正味十分最もハツキリで職収。





電話記

酒は伏見の高級鉛酒

支 向 ヤ

サー 短間一 箱重一 途岡静 百六千八 短間一 盆丸器漆屬金 七なじく空

相場表御申越次第呈上 卸 問屋

安東院馬俱樂部 出走頭數百四十八頭秋日短かく各競走出馬出走頭數百四十八頭秋日短かく各競走出馬大連、奉天、安東三競馬場の優秀馬競走

等等等等等 等

十月二二語十 臨 馬

九辰酱油

七町

月晶 安東競馬ご鎭江山滿洲の秋を飾る

+ 4 (米國政府登錄名) (中華國民政府登錄名)

デ

施羅試驗所無毒證明 日本內務省無毒證明 日本內務省無毒證明 中華國民政府專資權註册 4 L モ ٤ 0 滅亡

ウ

IJ

日本慶應大學醫學博士 和田氏推奨米國學學中 ウイリャムデー・マロー

阿

ー氏發明

吉野町電話四六二七

新後屋簡店

弾音計時スィフハ西瑞 **] 曾部時ドーオフイメ西瑞**

終始壓迫して

満鐵軍大勝す

對工專ラグビー

に吹くパラの花――市内深速町であらって製社の重役、実際要士等々々さあらの野なない。 こと大内さん子(こ)の影響な容が、実帯年 なめぐって製社の重役、実帯年 地力を おかけてるた

留置場に結ぶ女の夢は? 要求は「発力を持ち出された 笑で問題してしまった。そのうち 「愛になれ」で

どんな夢を描いてゐるこさか?

へ連海關東相手に

支那人船員に暴行を加へ い强盗の訴へ 銅錢を没收し

人族にも非常な影響・婦人 した他粧着信の秘訓説は した他粧着信の秘訓説は 月號の許・地部事

た。 無対的に採用するか緩止 に対し、去る八月の部長會議 に対しているの進行に私々短継 に対しているのでは、その に豪勢な 念事業は次の通りである。 ◆大連第一中學校 一、記念講演會開催(當日) 二、教育勅語の鑑誦鑑寫。 三、記念作文 四、記念賞牌闢案募集

在こそ正にエロ百パーセントだ、こ、に離ら出さるがい感。 来るカフエー驚の能彼を懐殺せずには置かねエブロンの女の存をがげて鬱惑皈な感突さ脂粉の香に、驚をしたふ糖の姫く集び事やかなカフエーのシャンデリヤの下に誘ふ水あれかしの帰藤 不記録に五千圓のチップを構に振り、かなはの態を智祭に私ふた資産家の銀籠さんが、懸のステップを踏み死して、の態、さてはナンセンス式の懸の行進服――奏るデヤズにの態、さてはエロ百パーセントだ、こ、に醸し出さる赤い態、 叶はぬ戀を警察へ

もない過去の勢さ

エプロン女に惚氣た排々爺さん

員

である、騙されたうへに五千個まにも補を振った、潰まぬのは高山 太平洋を挾んで 日米の掛合放送 今回の國際放送の好成績に

込んださいふナンセンス物語

・・エロならでは世の明けぬ世

日狐の首後や

既に替へられてゐた一千圓

日米組合放送も出來ることになり もこの問題には整んで應する か日本に於ける伴奏で音樂放送が うさ意気込んである

何者かに刺 無謀な身體檢查から 聲援群衆ご亂鬪中 3 満鐵が横書勵行

だしきも生命には別條ない模様で る、被害者は早速成田病院に擦ぎ ある『安東電話』 えれたが、傷は相當深く出的語 能率增進に

內地、本島人

の消息

東京十九日景電通』楽棚機管府 登板物省着=霧社着人職機地域内 の駐低所十七中職戦を受けたもの 十三、同地域に居住するもの内地 人二百七十一名(繁築宜三十六名、 を含む)本島人四百三十八名、右 の内理郷峰來せるもの内地人十六 名内警官二名、その家族九名本島。 角 上小丸 八質後 大大 八質 一般 大大 八質 一般 朝鮮根炭 田 拾錢 四四町狭芳連大

にては極力提書館代を築 たので、いよく、明年四月一日よ十五年のことで、その後 左書館代の準備を進めそれも整つ機書にすること、定めた いに基き交書縣にてはその後総念上流鐵が交書の書法を脱 というという

・ 対数数方は お綴さされる皆 ・ 対数数方は お綴さされる皆 ・ 対策線の対害は燃て機書さし用紙 ・ 対策の対害は燃で機書さし用紙

賣盡しデゴ大投賣ま早い勝

電話三八二

牛額以上一大賣出

渍

栗

か

内地

り蒸羊

日本各地名産

十一月五日迄

浪速町四丁目へ磐城町突雷リン

丸石洋行

東京風菓子謹製

新 新 太 " 有 大 唱 二 日間

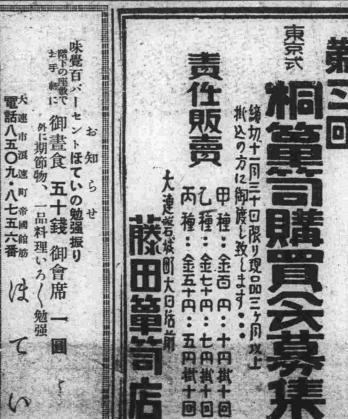
界各

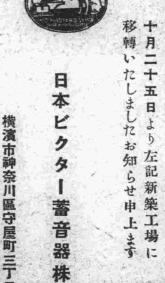
e e

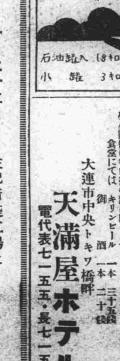
酒

類

愈よ明春四月一日から



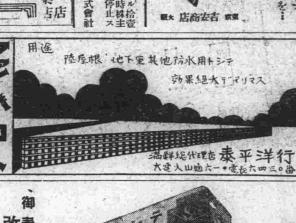






素チ のル





月出向島 留産品 秋から冬の帽子は

会タイプライターの練習し追々 名タイプライターの練習し追々 つた、関に監督が職等に送る者類の関係まざうしても概書不能の場合は緩粉部長に臨時のうへ特別機会に破かってある。 行に た切るこさいな

東移の簡便能平均進しか 京務の簡便能平均進しか 京書然の必要なんです。 な書然の必要なんです。 根は時代の力で益々制限 来ますがその結果假名が 来ますがその結果假名が 来ますがその結果假名が

明をはたまれた。 明をはたまれた。 明をはたまれた。 の一週三歳、れ二歳、外一歳中 の一歳中 の一歳の十二歳、外一歳中

連合許評判の

满鲜绿什理店泰平洋行 大建火山脑六-• 建长大四三。尚

塚天大學堂薬と 滿家殖產式會插 秦書漢テ停止ス

御便親御 安 心利切 変 の出来るななな

市内各中學校の催し 一七、善行の實践的行 九、自律の學風振作 九、聖確實踐週間 二、聖確實踐週間 二、聖確實證寫

奉祝體育失會

秘麗技を得ひ午後三時盛會裡に節

一日を終った

東一山さして外苑(東接場 中記念琴/設置音べ合は二 下九日 英電通』 明治練宮

心中巡查死す

念式を擧げるが市内中等學校の記述へて明三十日各學校は一覧に記述へて明三十日各學校は一覧に記述の

晚秋

0

陽

30 2

大連大廣場

y

37

の記念日に

か少額宛の醵金をして が成績品の展覧會 米學校 野會を行ふ

女子五十米実験走を最初にマス は十八日午後五時代窓に死亡した。 アの駅が発電五萬人人場し君ケ 妙錦葉を終総し印総を職つた元徳 歌歌へしく 腹肺された、午前九時 常震線において特字審真與事地数 かれ目を第一目さして外遊峡投場 去る十七日魏子高寶察器職項資金 かれ目を第一目さして外遊峡投場 まる十七日魏子高寶察器職項資金

◆大連羽大 一、講教大 そのまトタイムアツブごなる (工 事)

教。育。論。文

一等該當者なぐ五名を選出

きのふ關東廳學務課

全滿警察へ

贈物の謝状

長から本社へ 中谷警察協會

支、英、獨語講習

格松上新進關金大田古高森星浦峰 格松上新進關金大田古高森星浦峰 (滿 綴) 龍村本崎田宅瀨村田山田本吳島里 TB

1006工事

派に分裂か 対は無かってぬたが脚 育の

更生す

愈よ振興會 業務を開始

一 有秦集十一月七日開始詳細照會事 一有秦集十一月七日開始詳細照會事

學校側の切崩し奏功

論文當選者

| 対象は食は學校常局必死の棚館と | 対象は食は學校常局必死の棚館と | 大多な 統制を続けてきた全早得田駅合學・の學徒を擁し一絲彫れで完全なる。 憂慮すべき早大騒動の前途 學機器局の策戦が見事に効か炎し 後れずして學生職物域の憂目を見 るやも知れの存機さなつた、者し を見して、者し 三等

向ふさころし

Œ

隆吉

一、巡回文庫 参拾箱 新築落成記念さらて警察官慰勢 新築落成記念さらて警察官慰勢

と想感されたが最近、勝選線の 、委員が田中理事と配會し安協 行動を執るに至 を懸念されるに至り、早大監休事を懸念されるに至り、早大監休事を懸されるに至り、早大監休事の一般に分れて

星野產松

滿洲教育」

別箇の

り響視廠では厳重撃成中であるすべき状態を展開せんともつゝあ 暗雲をきしはまむ影戯

安東海關監視人

岡田米太郎

社際法人遊職後無倉は離社寺院等、現ていよく、整立をした、この中である。

在候 を強て智育に修養に趣味の演養 に何れも適切なる好資料たらざ おはなく修察官さして好個の讀 物を獲たるここを玆に深く感謝 仕候

和

記洋行

法政辛勝

對大帝戰

重きをなす 大衆の

横濱市神奈川區守屋町三丁目三三<u>四</u>二 郵便私書函本 杨四二八五八

一蓄音器株式會社

部へ壁ばれた。 部へ壁ばれた。

では更けて、真夜中の二時が十分 京子は、腕時間を見た。いつか 京子は、腕時間を見た。いつか

川日本郵船出帆

要目 {汽罐、汽機煙突、各

鐵並真鍮鑄物、酸素瓦斯種機械類、設計、製造、据

1 近海郵船

出机

一仲木真

00

そこで通夜が宿はれ

かって他に腕が乳粉られる。 …… 昨日 かって他に腕が乳粉られる。 続い 果敢ないかげは、丁度、自分の生 で表へ出された。 は最は、腹の線路をひた起りに はである。……鼻野に動し が東京よさらばだ!! を乗り付いたのか、とう後も出 っとう泣き織けてぬるこの眼は ので、からが、とうだら出 歌の臨さなって止まるさ、 さが次から次へさ縁返 くそこに止まつ 秘は他のために

なく。直次の瞬間、繰りにも、すけの く。直次の瞬間、繰りにも、すけた なく海野の最後を見解てきた自分 ため祭で打ちのばしたい無持ちに なって 歌歌の樹帯になるのだっ 74 紅竹

高度有限尺大連市山東 電話三二五一番 電話三二五一番

●鬼兒島、武體(明石丸十一月五日

大阪商船輸出大連支店

鎖街

量111110五番

とい電話二二一〇五巻

吹タモ赤自自 付 ライビ貝動 シージステルファ 四八八五番

ースーで観の観のやうに残っては はまな難しく降ってるた。 でつき顕暗な窓外を見やった。ス でつき顕暗な窓外を見やった。ス

殿の官要を云って見ては、自分を 際の官要を云って見ては、自分を 後始起はあの人たちがやつて下さ 真野は幸職だわ。自分のやりたい るつて云ってたし

●天津江州 武昌丸 十一月五日 東部 一河南丸 十一月五日 大阪商船館社大連支店

マクシャン

B

六二町須比弘市連大

● < 六 ○ 五 < 五 四 八 三二九一二 話電

多大阪商船业机

本那唯一

取 級 店 九 二 商 會 繁智名荷 九 二 商 會

船大連出帆

が後から追ひかけた。そして、強いで、烈しい雨の中で茫然で登身で洗はれた。 全身を洗はれた。 なってが出来た。 なっている。

可朝鲜野船走出帆

いたが、どうしても、凡ゆる人生が、親れかつた京子に、真野の死が、親れかつた京子に、真野の死が、親れかつたったが、妻けるだはくれなかつたったが、妻けるだいが、おけるたったが、どうして見よう!こんな心の

・次の瞬間、また、御野に黙する良いの何野が、こみ上げて來る。

朝韓鄭船株式會社大

性大連代理店 紅大連代理店 紅大連代理店

「今頃は、その居なくなったこさ

日本或館は大連出張所

へたちは根の行方を探すだらったかしら……若し解ったら

た。その発まで

てこの汽車の行くさころまでなら

へ除るでもない京子は、一うが悪いここをしたわ…

でふらくして外へ出た。 外へ出るさ、野が、出た。 かならくと外へ出た。

で、一般を探ふと帯揚げだけをとて、 ののがも密車の中のがのも、たっと軽量の上に様になっ

治新最

である。 現今使用せらる **挿入及び軟膏の** 貼布とがある。 これには坐薬

使用が一番安全

楽での

深遊性のものであるから慢性症であつても、 之を根本から治癒する事が此來る。

(事業)

あら、無難、無刺難で、その作用は使して一過性の麻酔作用ではなくて、控験である、水塊には麻酔薬や麒麟を刺鞭するやうな物は絶動に含んでるない

と自然痔疾の療法

術を列撃して見る

叙上の外科的手

る之等の薬剤には軍事酸「コカイン」「イヒテオー

る魔各薬店にあり ▼文獻進品▲ 價格 子抱(水むし)河獅(いんきん) 一般潰瘍、外科劇傷、火傷、豪傷 一般潰瘍、外科劇傷、火傷、豪傷 一般潰瘍、外科劇傷、火傷、豪傷 一般潰瘍、外科劇傷、火傷、豪傷 다. 다. 製出せられ

(できている) (できない) (できない 此處に簡單に説明し とは如何なるものか の三つの場合が主要な るものである。 を機嫌させ様とするものである 然らば外科的手術 (一)非觀血的治療を 持族外用薬の一般適應症 (二)観血的手術後の の標準としては

(三)外科的手術の必要 その随急的趣置 を忌避する場合の あるも、患者のこれ 必要とする場合

ヘルミチン の適應症

焼灼療法、結紮療法 とれには注射療法

及び切除療法の四 ないないない。 は、結紮療法

法がある。

鏡痛、瘻孔等に害がりなな特に止血、焼が火傷、創傷等に用ひて特に止血、 ルミチンは古來明黃油又は卵黄黑 治効果に就て の臨牀的 制及口口 (鐵着鐵桁、鐵骨家)

屋、豆油容器、媛爐葡萄路附屬品及信號裝置

文連機械製作所 電藍 (製作所

會株社式

電話二二〇三番

住意社代表 電話三一五一〈作業係で御指定を問は右の外に 電話三一五四・三一五五九九九 作業係直通 電話八七八・五九九九 年業係直通 電話八七八・五九九九

東務の刷新合理化――運搬費は 一般貨物運搬の御用命は 御用開外勤員增員――諸手續其他 御用開外勤員增員――諸手續其他 一般貨物運搬の御用命は 敏活なる運搬

― 満事績其他一切の代辯

火災、海上、 保

契約高の多少に不拘御電話り次第係員参上御相談中上ます 三井物產鄉大連支店 運送、自動車

医商者太澤蘇 二町套造區太